

注3

大学番号：015

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

事前伺い

茨城大学 工学部 機械システム工学科

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人茨城大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部総務課

職名・氏名 課長補佐（法規担当）
ハセガワ シンゴ
長谷川 慎吾

電話番号 029-228-8009

（夜間） 029-228-8035

F A X 029-228-8019

e-mail iba-houki@ml.ibaraki.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学部

＜機械システム工学科＞		ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	8
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	18
6. 留意事項等に対する履行状況等	44
7. その他全般的事項	46

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人茨城大学

(2) 大学名

茨城大学

(3) 大学の位置

〒316-8511
茨城県日立市中成沢町4-12-1

[〒310-8512
茨城県水戸市文京2-1-1]

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ミムラ ノブオ) 三村 信男 (平成26年9月)		
学部長	(マスザワ トオル) 増澤 徹 (平成30年4月)		
学科長等	(タナカ ノブアツ) 田中 伸厚 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等 【昼間コース】

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 機械システム工学科 昼間コース 学士(工学)	工学関係	4年	130人	3年次 6人	532人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	130人 (-) [若干名]	人	人	人	人	人	人	人	1.06倍	
志願者数	377 (-) [15]	(-) [-]	() []							
受験者数	246 (-) [11]	(-) [-]	() []							
合格者数	172 (-) [6]	(-) [-]	() []							
B 入学者数	138 (-) [4]	(-) [-]	() []							
入学定員超過率 B/A	1.06									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	138 [4] (-)	[] ()							
2年次	/		[] ()						
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	138 [4] (-)	[] ()							

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	138 人	0 人	平成30年度	人	人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合計	138 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{138} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等 【夜間主コース】

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 機械システム工学科 夜間主コース 学士(工学)	工学関係	4年	40人	-	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人 (-) [若干名]	人	人	人	人	人	人	人	1.02倍	
志願者数	152 (-) [-]	(-) [-]	() []							
受験者数	106 (-) [-]	(-) [-]	() []							
合格者数	60 (-) [-]	(-) [-]	() []							
B 入学者数	41 (-) [-]	(-) [-]	() []							
入学定員超過率 B/A	1.02									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年度で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	41 [-] (-)	- [-] (-)							
2年次	/								
3年次									
4年次									
計			41 [-] (-)						

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	41 人	0 人	平成30年度	人	人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合 計	41 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{41} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学部 機械システム工学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
入門科目	大学入門ゼミ	1前	2			2	1					兼5	
	茨城学	1②③	2									兼13	
共通基礎科目	ブラガテカル・イングリッシュ(PE)												
	Integrated English I A	1前		2								兼5	
	Integrated English II A	1前		2								兼11	
	Integrated English III A	1前		2								兼1	
	Integrated English I B	1後		1								兼5	
	Integrated English II B	1後		1								兼11	
	Integrated English III B	1後		1								兼2	
	Advanced English I A	2前		1								兼1	
	Advanced English I B	2後		1								兼1	
	Advanced English II A	2-3前		1								兼4	
	Advanced English II B	2後		1								兼4	
	Advanced English III A	2-3前		1								兼5	
	Advanced English III B	2後		1								兼1	
	Advanced English III C	2-3前		1								兼2	
	情報リテラシー												
	情報リテラシー	1前		2				1	1				
	心と体の健康												
	身体活動	1前後		1									兼4
	身体活動	2前後		1									兼5
	健康の科学	1①~④		1									兼2
	科学の基礎												
	数学基礎	1①②		1									兼2
	物理学基礎	1①②		1									兼3
	化学基礎	1①②		1									兼2
	生物学基礎	1①②		1									兼1
	微積分学	1前		2			1	1					兼1
微積分学入門	1①		2									兼2	
微積分学基礎	1②		2									兼2	
カと運動	1前		2		2							兼1	
力学入門	1①		2									兼2	
力学基礎	1②		2									兼2	
科学と倫理B	2前後		2									兼2	
リベラルアーツ科目	多文化理解												
	異文化コミュニケーション												
	ドイツ語入門	1後		1								兼3	
	ドイツ語基礎 I	2前		1								兼1	
	ドイツ語基礎 II	2後		1								兼1	
	フランス語入門	1後		1								兼2	
	中国語入門	1後		1								兼8	
	朝鮮語入門	1後		1								兼2	
	スペイン語入門	1後		1								兼2	
	学術日本語 I	1前後		1								兼2	
	学術日本語 II A	1前後・2前		1								兼2	
	学術日本語 II B	1前		1								兼1	
	学術日本語 II C	1後		1								兼1	
	人間とコミュニケーション	1③~③②		1									兼6
	多文化共生	1③~③②		1									兼1
	コミュニケーションと芸術文化	1③~③②		1									兼4

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
入門科目	大学入門ゼミ	1前	2										
	茨城学	1②③	2					1	1	1		兼8	
共通基礎科目	ブラガテカル・イングリッシュ(PE)												
	Integrated English I A	1前		2								兼4	
	Integrated English II A	1前		2								兼15	
	Integrated English III A	1前		2								兼3	
	Integrated English I B	1後		1								兼4	
	Integrated English II B	1後		1								兼15	
	Integrated English III B	1後		1								兼4	
	Advanced English I A	2前		1								兼2	
	Advanced English I B	2後		1								兼2	
	Advanced English II A	2-3前		1								兼4	
	Advanced English II B	2後		1								兼2	
	Advanced English III A	2-3前		1								兼3	
	Advanced English III B	2後		1								兼3	
	Advanced English III C	2-3前		1								兼1	
	情報リテラシー												
	情報リテラシー	1前		2					3				
	心と体の健康												
	身体活動	1前後		1									兼6
	身体活動	2前後		1									兼1
	健康の科学	1①~④		1									兼5
	科学の基礎												
	数学基礎	1①②		1									兼2
	物理学基礎	1①②		1									兼2
	化学基礎	1①②		1									兼1
	生物学基礎	1①②		1									兼1
	微積分学	1前		2						1	1		兼7
微積分学入門	1①		2									兼1	
微積分学基礎	1②		2									兼1	
カと運動	1前		2					1				兼8	
力学入門	1①		2									兼1	
力学基礎	1②		2									兼1	
科学と倫理B	2前後		2									兼2	
リベラルアーツ科目	多文化理解												
	異文化コミュニケーション												
	ドイツ語入門	1後		1								兼6	
	ドイツ語基礎 I	2前		1								兼1	
	ドイツ語基礎 II	2後		1								兼1	
	フランス語入門	1後		1								兼2	
	中国語入門	1後		1								兼9	
	朝鮮語入門	1後		1								兼3	
	スペイン語入門	1後		1								兼2	
	学術日本語 I	1前後		1								兼2	
	学術日本語 II A	1前後・2前		1								兼2	
	学術日本語 II B	1前		1								兼1	
	学術日本語 II C	1後		1								兼2	
	人間とコミュニケーション	1③~③②		1								兼10	
	多文化共生	1③~③②		1								兼4	
	コミュニケーションと芸術文化	1③~③②		1								兼5	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
リベラルアーツ科目	ヒューマニティーズ													
	思想・文学	1③～ 3②	1										兼3	
	歴史・考古学	1③～ 3②	1										兼6	
	人間科学	1③～ 3②	1										兼5	
	メディア文化	1③～ 3②	1										兼2	
	パフォーマンス&アート													
	スポーツ文化	1③～ 3②	1										兼1	
	音楽文化	1③～ 3②	1										兼1	
	美術文化	1③～ 3②	1										兼3	
	ダンス・演劇文化	1③～ 3②	1										兼1	
	自然と社会の広がり													
	自然・環境と人間													
	物質と生命	1③～ 3④	1										兼6	
	技術と社会	1③～ 3④	1										兼6	
	環境と人間	1③～ 3④	1										兼22	
	グローバル化と人間社会													
	法律・政治	1③～ 3④	1										兼4	
	経済・経営	1③～ 3④	1										兼5	
	日本国憲法	2①～ 3②	1										兼2	
	公共社会	1③～ 3④	1										兼6	
グローバルスタディーズ	1③～ 3④	1										兼4		
キャリアを考える														
ライフデザイン	3①②	1											兼8	
グローバル英語プログラム科目	Academic Writing	2③	1										兼1	
	Studies in Particular Fields	2③	1										兼1	
	Reading & Discussion	2④	1										兼1	
	Academic Speaking	2④	1										兼1	
	Presentations in English	3①	1										兼1	
	TOEIC & TOEFL	3②	1										兼1	
	English for Socializing	3③	1										兼1	
	Studying Abroad	3③	1										兼1	
	Bilingualism	3④	1										兼1	
	Studies in Contemporary Japan	3④	1										兼1	
	日本語教育プログラム科目	日本語教育概論	2前	2										兼1
		多文化社会と日本語教育	2前	2										兼1
		日本語教授法Ⅰ	2後	2										兼1
		日本語教授法Ⅱ	3前	2										兼1
		日本語教授法演習	3後・ 4前	2										兼5
		日本語教授法演習(海外)	3後・ 4前	2										兼5
	COC地域志向教育プログラム科目	5学部混合地域PBLⅠ	1前	2										兼1
		5学部混合地域PBLⅡ	2前	2										兼1
		5学部混合地域PBLⅢ	1前	2										兼1
	AIMSプログラム科目	地域サステナビリティ学概論	2後	1										兼3
環境共生論		2後	2										兼6	
環境保全型農業論		2後	2										兼6	
フィールド実践演習		2後	1										兼1	
環境変動適応・防災論		2後	2										兼3	
地域環境管理論		2後	2										兼3	
地域サステナビリティ学特別講義Ⅰ		2後	1										兼2	
地域サステナビリティ学特別講義Ⅱ		2後	1										兼2	
地域サステナビリティ学ゼミナール		3後	1										兼60	
地域サステナビリティ学ラボワーク		3後	2										兼60	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
リベラルアーツ科目	ヒューマニティーズ													
	思想・文学	1③～ 3②	1										兼9	
	歴史・考古学	1③～ 3②	1										兼11	
	人間科学	1③～ 3②	1										兼10	
	メディア文化	1③～ 3②	1										兼6	
	パフォーマンス&アート													
	スポーツ文化	1③～ 3②	1										兼1	
	音楽文化	1③～ 3②	1										兼3	
	美術文化	1③～ 3②	1										兼5	
	ダンス・演劇文化	1③～ 3②	1										兼1	
	自然と社会の広がり													
	自然・環境と人間													
	物質と生命	1③～ 3④	1										兼11	
	技術と社会	1③～ 3④	1						1				兼13	
	環境と人間	1③～ 3④	1						1				兼14	
	グローバル化と人間社会													
	法律・政治	1③～ 3④	1										兼4	
	経済・経営	1③～ 3④	1										兼4	
	日本国憲法	2①～ 3②	1										兼1	
	公共社会	1③～ 3④	1										兼10	
グローバルスタディーズ	1③～ 3④	1										兼5		
キャリアを考える														
ライフデザイン	3①②	1										兼3		
グローバル英語プログラム科目	Academic Writing	2③～ 3④	1										兼2	
	Studies in Particular Fields	2③～ 3④	1										兼2	
	Reading & Discussion	2③～ 3④	1										兼3	
	Academic Speaking	2③～ 3④	1										兼3	
	Presentations in English	2③～ 3④	1										兼1	
	TOEIC & TOEFL	2③～ 3④	1										兼1	
	English for Socializing	2③～ 3④	1										兼1	
	Studying Abroad	2③～ 3④	1										兼1	
	Bilingualism	2③～ 3④	1										兼1	
	Studies in Contemporary Japan	2③～ 3④	1										兼1	
	日本語教育プログラム科目	日本語教育概論	2前	2										兼1
		多文化社会と日本語教育	2前	2										兼2
		日本語教授法Ⅰ	2後	2										兼1
		日本語教授法Ⅱ	3前	2										兼1
		日本語教授法演習	3後・ 4前	2										兼5
		日本語教授法演習(海外)	3後・ 4前	2										兼5
	COC地域志向教育プログラム科目	5学部混合地域PBLⅠ	1前	2										兼1
		5学部混合地域PBLⅡ	2前	2										兼1
		5学部混合地域PBLⅢ	1後	2										兼2
		5学部混合地域PBLⅣ	1前	2										兼3
AIMSプログラム科目	地域サステナビリティ学概論	2後	1										兼2	
	環境共生論	2後	2										兼4	
	環境保全型農業論	2後	2										兼6	
	フィールド実践演習	2後	1										兼1	
	環境変動適応・防災論	2後	2										兼3	
	地域環境管理論	2後	2										兼3	
	地域サステナビリティ学特別講義Ⅰ	2後	1										兼1	
	地域サステナビリティ学特別講義Ⅱ	2後	1										兼3	
	地域サステナビリティ学ゼミナール	3後	1										兼57	
	地域サステナビリティ学ラボワーク	3後	2										兼57	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学部共通専門基礎教育科目	線形代数Ⅰ	1前	2									兼2	
	多変数の微積分学	1後	2					3				兼2	
	常微分方程式	2前	2				1					兼1	
	化学概論	1前	1									兼1	
	電磁気学概論	1後	1									兼1	
	情報スキル	1後	1									兼1	
	プログラミング演習Ⅰ	2前	2					1	1				
	工学実用英語	3後	1										兼6
	熱力学Ⅰ	1後	2			1							兼1
	流体力学Ⅰ	2前	2				2						兼1
材料力学Ⅰ	2前	2				3							
機械力学Ⅰ	2前	2					2						
制御工学Ⅰ	2後	2				2							
機械材料工学Ⅰ	1後	2				1	1						
機械材料工学Ⅱ	2前	2	2			1							
工業力学	1後	2				1	1						
電気電子工学概論	1後	2				1	1						
電気電子回路	2前	2	2			1	1						
設計製図	2後	2						2				兼1	
プログラミング演習Ⅱ	2後	2					1	1					
複素解析	2前	2				1						兼2	
機械システム工学実習Ⅰ	2後	2				2	1						
フーリエ解析	2後	2	2			1						兼1	
ラプラス変換	2前	2				1						兼1	
線形代数Ⅱ	1後	2				2						兼2	
数理統計学	2前	2					1					兼1	
アルゴリズムとデータ構造	2後	2						1					
コンピュータ数学	2前	2						1					
設計製図基礎	1前	2				1						兼1	
機械工作法	1後	2				2							
機構学	1前	2					1					兼1	
熱力学演習Ⅰ	2前	1				1							
流体力学演習Ⅰ	2後	1						1					
材料力学演習Ⅰ	2後	1				2							
機械力学演習Ⅰ	2後	1					2						
職業指導	2前		2									兼1	
学部共通専門基礎教育科目	機械システム工学実験	3前・後	2			3	6	1	7				
	機械システム工学実習Ⅱ	3前・後	2			1	2		5				
	CAD製図	3後	2				1		3				
	機械学習	3後		2			1						
	数値計算アルゴリズム	3前	2					1					
	計算力学	3後	2				1						
	幾何・画像情報処理	3後	2				1	1					
	デジタル信号処理	3後	2				1						
	生体機械工学	3前	2				1	1					
	環境工学	3前	2				1						
	機械システム工学インターンシップ	3後	2				1						
	シミュレーション工学演習	4前	2				1						
	熱力学演習Ⅱ	3後	1					1					
	流体力学演習Ⅱ	3後	1				1						
	材料力学演習Ⅱ	3後	1				1						
機械力学演習Ⅱ	3後	1					2						
エネルギー・機械	熱力学Ⅱ	3前	2				1						
	流体力学Ⅱ	3前	2					1					
	伝熱工学	3後	2				1						
	熱機関工学	3後	2				1						
	流体機械工学	3前	2				1						
設計製造	機械設計工学	3前	2				1						
	生産加工学	3前	2				1	1					
	材料力学Ⅱ	3前	2				1					兼1	
	機械力学Ⅱ	3前	2				1					兼1	
	メカトロニクス	3前	2				1		1				
情報機械	制御工学Ⅱ	3前	2				1	1					
	メカトロニクス	3前	2				1						
	ロボット工学	3後	2				1			1			
	人工知能	3前	2					1					
	システムのモデル化	3前	2				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学部共通専門基礎教育科目	線形代数Ⅰ	1前	2									兼3	
	多変数の微積分学	1後	2						2			兼1	
	常微分方程式	2前	2					1				兼2	
	化学概論	1前	1									兼1	
	電磁気学概論	1後	1									兼1	
	情報スキル	1後	1									兼1	
	プログラミング演習Ⅰ	2前	2						1	1			
	工学実用英語	3後	1										兼6
	熱力学Ⅰ	1後	2				1						兼1
	流体力学Ⅰ	2前	2					2					兼1
材料力学Ⅰ	2前	2					3						
機械力学Ⅰ	2前	2						2					
制御工学Ⅰ	2後	2					2						
機械材料工学Ⅰ	1後	2					1	1					
機械材料工学Ⅱ	2前	2	2				1						
工業力学	1後	2					1	1					
電気電子工学概論	1後	2					1	1					
電気電子回路	2前	2	2				1	1					
設計製図	2後	2								2		兼1	
プログラミング演習Ⅱ	2後	2						1	1				
複素解析	2前	2					1					兼2	
機械システム工学実習Ⅰ	2後	2					2	1					
フーリエ解析	2後	2	2				1					兼1	
ラプラス変換	2前	2					1					兼1	
線形代数Ⅱ	1後	2					2					兼3	
数理統計学	2前	2						1				兼1	
アルゴリズムとデータ構造	2後	2							1				
コンピュータ数学	2前	2							1				
設計製図基礎	1前	2						2					
機械工作法	1後	2					2						
機構学	1前	2						1				兼1	
熱力学演習Ⅰ	2前	1					1						
流体力学演習Ⅰ	2後	1							1				
材料力学演習Ⅰ	2後	1					2						
機械力学演習Ⅰ	2後	1						2					
職業指導	2前		2									兼1	
学部共通専門基礎教育科目	機械システム工学実験	3前・後	2					4	5	1	7		
	機械システム工学実習Ⅱ	3前・後	2					1	2		5		
	CAD製図	3後	2						1		3		
	機械学習	3後		2				1					
	数値計算アルゴリズム	3前	2							1			
	計算力学	3後	2					1					
	幾何・画像情報処理	3後	2					1	1				
	デジタル信号処理	3後	2					1					
	生体機械工学	3前	2					1	1				
	環境工学	3前	2					1					
	機械システム工学インターンシップ	3後	2					1					
	シミュレーション工学演習	4前	2					1					
	熱力学演習Ⅱ	3後	1						1				
	流体力学演習Ⅱ	3後	1					1					
	材料力学演習Ⅱ	3後	1					1					
機械力学演習Ⅱ	3後	1						2					
エネルギー・機械	熱力学Ⅱ	3前	2					1					
	流体力学Ⅱ	3前	2							1			
	伝熱工学	3後	2					1					
	熱機関工学	3後	2					1					
	流体機械工学	3前	2						1				
設計製造	機械設計工学	3前	2						1				
	生産加工学	3前	2					1	1				
	材料力学Ⅱ	3前	2					1				兼1	
	機械力学Ⅱ	3前	2					1				兼1	
	メカトロニクス	3前	2					1		1			
情報機械	制御工学Ⅱ	3前	2					1	1				
	メカトロニクス	3前	2					1					
	ロボット工学	3後	2					1			1		
	人工知能	3前	2							1			
	システムのモデル化	3前	2					1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
卒業研究	卒業研究	4通	8			16	14	8	10		
学部共通科目	工業日本語ゼミナールⅠ	2・3・4前	2								兼1
	工業日本語ゼミナールⅡ	2・3・4後	2								兼1
	日本語情報処理Ⅰ	2・3・4前	2								兼1
	日本語情報処理Ⅱ	2・3・4後	2								兼1
	工業日本語Ⅰ	2・3・4前	2								兼1
	工業日本語Ⅱ	2・3・4後	2								兼1
	工業日本語演習Ⅰ	2・3・4前	1								兼1
	工業日本語演習Ⅱ	2・3・4後	1								兼1
	工学概論	2・3・4前	2			5					兼6
	知的財産法	2・3・4後	1								兼1
	原子力工学概論	2・3・4後	2			2	2				兼6
	工学地域PBL実習	2・3・4通	2			1					兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
卒業研究	卒業研究	4通	8			21	14	6	8		
学部共通科目	工業日本語ゼミナールⅠ	2・3・4前	2								兼1
	工業日本語ゼミナールⅡ	2・3・4後	2								兼1
	日本語情報処理Ⅰ	2・3・4前	2								兼1
	日本語情報処理Ⅱ	2・3・4後	2								兼1
	工業日本語Ⅰ	2・3・4前	2								兼1
	工業日本語Ⅱ	2・3・4後	2								兼1
	工業日本語演習Ⅰ	2・3・4前	1								兼1
	工業日本語演習Ⅱ	2・3・4後	1								兼1
	工学概論	2・3・4前	2			5					兼7
	知的財産法	2・3・4後	1								兼1
	原子力工学概論	2・3・4後	2			2	2				兼6
	工学地域PBL実習	2・3・4通	2			1					

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】	
・担当教員見直しのため、	「大学入門ゼミ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1」から「教授1、准教授1、講師1」に変更。
・担当教員見直しのため、	「茨城学」の専任教員等の配置を「兼13」から「兼8」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Integrated English IA」「Integrated English IB」の兼任・兼担を「兼5」から「兼4」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Integrated English IIA」「Integrated English IIB」の兼任・兼担を「兼11」から「兼15」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Integrated English IIIA」の兼任・兼担を「兼1」から「兼3」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Integrated English IIIB」の兼任・兼担を「兼2」から「兼4」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Advanced English IA」「Advanced English IB」の兼任・兼担を「兼1」から「兼2」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Advanced English IIB」の兼任・兼担を「兼4」から「兼2」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Advanced English IIIA」の兼任・兼担を「兼5」から「兼3」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Advanced English IIIB」の兼任・兼担を「兼1」から「兼3」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Advanced English IIIC」の兼任・兼担を「兼2」から「兼1」に変更。
・担当教員見直しのため、	「情報リテラシー」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1」から「准教授3」に変更。
・担当教員見直しのため、	「身体活動（必修）」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼6」に変更。
・担当教員見直しのため、	「身体活動（選択）」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼1」に変更。
・担当教員見直しのため、	「健康の科学」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼5」に変更。
・担当教員見直しのため、	「物理学基礎」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
・担当教員見直しのため、	「化学基礎」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・担当教員見直しのため、	「微積分学」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1、兼2」から「准教授1、講師1、兼1」に変更。
・担当教員見直しのため、	「微積分学入門」「微積分学基礎」「力学入門」「力学基礎」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・担当教員見直しのため、	「力と運動」の専任教員等の配置を「教授2、兼1」から「教授1、兼8」に変更。
・担当教員見直しのため、	「ドイツ語入門」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼6」に変更。
・担当教員見直しのため、	「中国語入門」の専任教員等の配置を「兼8」から「兼9」に変更。
・担当教員見直しのため、	「学術日本語II C」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・担当教員見直しのため、	「人間とコミュニケーション」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼10」に変更。
・担当教員見直しのため、	「多文化共生」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
・担当教員見直しのため、	「コミュニケーションと芸術文化」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼5」に変更。
・担当教員見直しのため、	「思想・文学」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼9」に変更。
・担当教員見直しのため、	「歴史・考古学」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼11」に変更。
・担当教員見直しのため、	「人間科学」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼10」に変更。
・担当教員見直しのため、	「メディア文化」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼6」に変更。
・担当教員見直しのため、	「音楽文化」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
・担当教員見直しのため、	「美術文化」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼5」に変更。
・担当教員見直しのため、	「物質と生命」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼11」に変更。
・担当教員見直しのため、	「技術と社会」の専任教員等の配置を「兼6」から「教授1、兼13」に変更。
・担当教員見直しのため、	「環境と人間」の専任教員等の配置を「兼22」から「教授1、兼14」に変更。
・担当教員見直しのため、	「経済・経営」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼4」に変更。
・担当教員見直しのため、	「日本国憲法」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・担当教員見直しのため、	「公共社会」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼10」に変更。
・担当教員見直しのため、	「グローバル・スタディーズ」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼5」に変更。
・担当教員見直しのため、	「ライフデザイン」の専任教員等の配置を「兼8」から「兼3」に変更。
・時間割見直しのため、	「グローバル英語プログラム科目」の配当年次を「2③④」から「2③～3④」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Academic Writing」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Studies in Particular Fields」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Reading & Discussion」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Academic Speaking」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
・担当教員見直しのため、	「多文化社会と日本語教育」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・時間割見直しのため、	「5学部混合地域PBL III」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
・担当教員見直しのため、	「5学部混合地域PBL III」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育内容の充実のため、	「5学部混合地域PBL IV」を追加。
・担当教員見直しのため、	「地域サステイナビリティ学概論」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
・担当教員見直しのため、	「環境共生論」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼4」に変更。
・担当教員見直しのため、	「地域サステイナビリティ学特別講義I」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・担当教員見直しのため、	「地域サステイナビリティ学特別講義II」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
・担当教員見直しのため、	「地域サステイナビリティ学セミナー」の専任教員等の配置を「兼60」から「兼57」に変更。
・担当教員見直しのため、	「地域サステイナビリティ学ラボワーク」の専任教員等の配置を「兼60」から「兼57」に変更。
・担当教員見直しのため、	「線形代数I」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
・配置転換のため、	「多変数の微積分学」の専任教員等の配置を「講師3」から「講師2」に、兼任・兼担を「兼0」から「兼1」に変更。
・昇進のため、	「プログラミング演習I」の専任教員等の配置を「講師1、助教1」から「准教授1、助教1」に変更。
・担当教員見直しのため、	「線形代数II」の兼任・兼担を「兼2」から「兼3」に変更。
・専任教員が担当することになったため、	「設計製図基礎」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、兼任・兼担を「兼1」から「兼0」に変更。
・昇進のため、	「機械システム工学実験」の専任教員等の配置を「教授3、准教授6、講師1、助教7」から「教授4、准教授5、講師1、助教7」に変更。
・昇進のため、	「幾何・画像情報処理」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」から「教授1、准教授1」に変更。
・昇進のため、	「熱力学演習II」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
・昇進のため、	「熱力学II」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
・昇進、配置転換及び担当教員見直しのため、	「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授16、准教授14、講師8、助教10」から「教授21、准教授14、講師6、助教8」に変更。
・担当教員見直しのため、	「工学概論」の兼任・兼担を「兼6」から「兼7」に変更。
・担当教員見直しのため、	「工学地域PBL実習」の兼任・兼担を「兼1」から「兼0」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画					変更状況					備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計			
30 科目	139 科目	1 科目	170 科目	30 科目	140 科目	1 科目	171 科目			
				[]	[1]	[]	[1]			

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{170} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	369,215㎡	㎡	㎡	369,215㎡			
	運動場用地	114,255㎡	㎡	㎡	114,255㎡			
	小 計	483,470㎡	㎡	㎡	483,470㎡			
	そ の 他	315,124㎡	㎡	㎡	315,124㎡			
	合 計	798,594㎡	㎡	㎡	798,594㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		147,665㎡ (147,665㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	147,665㎡ (147,665㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		27室	3室	130室	0室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		工学部 機械システム工学科			49 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数
	工学部 機械システム工学科	1,008,826 (282,013) (1,008,826 [282,013])	16,462 [4,704] (16,462 [4,704])	2,430 [2,429] (2,430 [2,429])	3,123 (3,123)	— ()	— ()	
	計	1,008,826 (282,013) (1,008,826 [282,013])	16,462 [4,704] (16,462 [4,704])	2,430 [2,429] (2,430 [2,429])	3,123 (3,123)	— ()	— ()	
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		11,986㎡		997	958,000		大学全体	
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		3,160㎡		テニスコート7面		プール (25m×15m) 1基	大学全体	
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	茨城大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文社会科学部									
現代社会学科	4	130	—	520	学士 (現代社会学)	1.03	平成29年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
法律経済学科	4	120	—	480	学士 (社会科学)	1.03	平成29年度	同上	
人間文化学科	4	110	—	440	学士 (人文科学)	1.05	平成29年度	同上	
人文学部									
人文コミュニケーション学科	4	—	—	—	学士 (人文科学)	—	平成18年度	同上	平成29年度より学生募集停止
社会科学科	4	—	—	—	学士 (社会科学)	—	昭和50年度	同上	平成29年度より学生募集停止
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	240	—	960	学士 (教育学)	1.05	平成8年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
養護教諭養成課程	4	35	—	140	学士 (教育学)	1.03	昭和50年度	同上	
情報文化課程	4	—	—	—	学士 (教養)	—	平成元年度	同上	平成29年度より学生募集停止
人間環境教育課程	4	—	—	—	学士 (教養)	—	平成11年度	同上	平成29年度より学生募集停止
理学部									
理学科	4	205	4	828	学士 (理学)	1.05	平成17年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
工学部									
機械システム工学科	4	130	6	532	学士 (工学)	1.06	平成30年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	
機械システム工学科(夜)	4	40	—	160	学士 (工学)	1.02	平成30年度	同上	
電気電子システム工学科	4	125	5	510	学士 (工学)	1.01	平成30年度	同上	
物質科学工学科	4	110	3	446	学士 (工学)	1.00	平成30年度	同上	
情報工学科	4	80	4	328	学士 (工学)	1.02	平成30年度	同上	
都市システム工学科	4	60	2	244	学士 (工学)	1.03	平成30年度	同上	
機械工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成2年度	同上	平成30年度より学生募集停止
生体分子機能工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17年度	同上	平成30年度より学生募集停止
マテリアル工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17年度	同上	平成30年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成2年度	同上	平成30年度より学生募集停止
メディア通信工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成8年度	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17年度	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学科(B)	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17年度	同上	平成30年度より学生募集停止
農学部									
食生命科学科	4	80	5	330	学士 (農学)	1.04	平成29年度	茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1	

地域総合農学科	4	80	5	330	学士 (農学)	1.06	平成29年度	同上	
生物生産科学科	4	—	—	—	学士 (農学)	—	平成12年度	同上	平成29年度より学生募集停止
資源生物科学科	4	—	—	—	学士 (農学)	—	昭和62年度	同上	平成29年度より学生募集停止
地域環境科学科	4	—	—	—	学士 (農学)	—	平成12年度	同上	平成29年度より学生募集停止
人文社会科学研究科									
文化科学専攻	2	13	—	26	修士 (学術)	0.88	平成21年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
社会科学専攻	2	12	—	24	修士 (学術)	1.41	平成26年度	同上	
地域政策専攻	2	—	—	—	修士 (学術)	—	平成6年度	同上	平成26年度より学生募集停止
教育学研究科									
障害児教育専攻	2	3	—	6	修士 (教育学)	1.16	昭和63年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
教科教育専攻	2	22	—	44	修士 (教育学)	1.20	昭和63年度	同上	
養護教育専攻	2	3	—	6	修士 (教育学)	0.83	平成9年度	同上	
学校臨床心理専攻	2	9	—	18	修士 (教育学)	1.16	平成13年度	同上	
教育実践高度化専攻	2	15	—	30	教職修士 (専門職)	1.03	平成28年度	同上	
理工学研究科									
(博士前期課程)									
量子線科学専攻	2	102	—	204	修士(理学) 修士(工学)	0.91	平成28年度	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
理学専攻	2	45	—	90	修士 (理学)	1.21	平成21年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
機械システム工学専攻	2	86	—	172	修士 (工学)	1.36	平成30年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	
電気電子システム工学専攻	2	58	—	116	修士 (工学)	1.05	平成30年度	同上	
情報工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	1.40	平成30年度	同上	
都市システム工学専攻	2	27	—	54	修士 (工学)	1.03	平成30年度	同上	
機械工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成7年度	同上	平成30年度より学生募集停止
電気電子工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成7年度	同上	平成30年度より学生募集停止
IT通信工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成12年度	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成21年度	同上	平成30年度より学生募集停止
応用粒子線科学専攻	2	—	—	—	修士(理学) 修士(工学)	—	平成16年度	同上	平成28年度より学生募集停止
(博士後期課程)									
量子線科学専攻	3	20	—	60	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.60	平成28年度	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
複雑系システム科学専攻	3	10	—	30	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.90	平成28年度	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
社会システム科学専攻	3	8	—	24	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.62	平成28年度	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
物質科学専攻	3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	平成7年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
生産科学専攻	3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	平成7年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
情報・システム科学専攻	3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	平成7年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
宇宙地球システム科学専攻	3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	平成7年度	茨城県水戸市文京2-1-1	平成28年度より学生募集停止

環境機能科学専攻	3	—	—	—	博士（理学） 博士（工学） 博士（学術）	—	平成8年度	茨城県水戸市文京2-1-1	平成28年度より学生募集停止
応用粒子線科学専攻	3	—	—	—	博士（理学） 博士（工学） 博士（学術）	—	平成16年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
農学研究科									
農学専攻	2	48	—	96	修士 （農学）	0.77	平成29年度	茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1	
生物生産科学専攻	2	—	—	—	修士 （農学）	—	平成16年度	同上	平成29年度より学生募集停止
資源生物科学専攻	2	—	—	—	修士 （農学）	—	平成3年度	同上	平成29年度より学生募集停止
地域環境科学専攻	2	—	—	—	修士 （農学）	—	平成16年度	同上	平成29年度より学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については，必ず記入するとともに，下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
16	14	8	10	48	21	14	6	8	49	17	14	6	9	46
(21)	(14)	(6)	(8)	(49)						[1]	[0]	[Δ2]	[Δ1]	[Δ2]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{46}{48} = \boxed{95.83} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{49} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由 **該当なし**

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	専任・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
			必修	選択				
1	教授		必修					
			選択					
			必修					
2	准教授		自由					
			必修					
			必修					
合計 (D)			後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人		必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	専任・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
			必修	選択				
1	教授		必修					
			選択					
			必修					
2	准教授		自由					
			必修					
			必修					
合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人		必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人		必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{48} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
			必修	選択							
1	教授		必修								
			選択								
			必修								
2	准教授		自由								
			必修								
			必修								
合計			後任補充状況の集計								
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等 該当なし

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・大学設置基準に抵触 するため、改めるこ と。(△△学部△△学 科)	留意事項	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・〇〇学部〇〇学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(◆◆学 科、●●学科)の～す ること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)	・〇〇学部〇〇学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(◆◆学 科、●●学科)の～す ること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・××学部××学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(□□学 科、■●学科)の～す ること。	改善意見	履行済

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<工学部 機械システム工学科>

(1) 設置計画変更事項等 該当なし

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 A. 教育改善委員会 B. ②産学協同カリキュラム改良委員会 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) A. 学期始めを中心に、年6回程度開催 B. 年1回～2回程度開催 c 委員会の審議事項等 A. -1 授業アンケート及び学科教育点検に関すること -2 FD及び推奨授業に関すること -3 JABEEに関すること B. カリキュラム及び授業に関すること ② 実施状況 a 実施内容 A. 第1回(H29.4.27 出席者9名) 授業アンケートについて、推奨授業について 他 第2回(H29.5.22 出席者11名) 授業アンケートについて、学科教育点検について、JABEEについて 他 第3回(H29.9.13 出席者10名) 推奨授業について、学科教育点検について、JABEEについて 他 第4回(H29.10.17 出席者11名) 推奨授業について、学科教育点検について、FD研修会について 他 第5回(H29.11.17 出席者9名) 授業アンケートについて、推奨授業について、JABEEについて 他 第6回(H29.12.22 出席者9名) 授業アンケートについて、学科教育点検について、FD研修会について 他 第7回(H30.2.14 出席者10名) FD研修会について、H30活動計画について 他 ・FD研修会の実施(H29.12.13 出席者119名) B. 第1回(H29.10.20 出席者21名) 学部及び大学院の授業について 第2回(H30.3.8 出席者25名) 学部及び大学院の授業について b 実施方法 上記のとおり c 開催状況(教員の参加状況含む) 上記のとおり d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 上記A及びBの審議を踏まえ、学科長から所属各教員に改善内容を周知し、それぞれが改善に取り組んでいる。
--

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各学期の講義最終回にアンケートを実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

結果を担当教員に周知するほか、学科内で共有を図っている。

学生に対して公表はしていない。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

計画どおり実施している。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って計画どおり教育研究活動を実施する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成30年7月30日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定(平成30年7月末を予定)

③ 認証評価を受ける計画

・平成34年度に評価機関(大学改革支援・学位授与機構)の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表(予定)の有無 (有) ・ 無)

b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (平成30年 9月 1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

注3

大学番号：015

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

事前伺い

茨城大学 工学部 電気電子システム工学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人茨城大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部総務課

職名・氏名 課長補佐（法規担当）
ハセガワ シンゴ
長谷川 慎吾

電話番号 029-228-8009

（夜間） 029-228-8035

F A X 029-228-8019

e-mail iba-houki@ml.ibaraki.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学部

<電気電子システム工学科>		ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	16
6. 留意事項等に対する履行状況等	44
7. その他全般的事項	46

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人茨城大学

(2) 大学名

茨城大学

(3) 大学の位置

〒316-8511
茨城県日立市中成沢町4-12-1

[〒310-8512
茨城県水戸市文京2-1-1]

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ミムラ ノブオ) 三村 信男 (平成26年9月)		
学部長	(マスザワ トオル) 増澤 徹 (平成30年4月)		
学科長等	(イマイ ヨウ) 今井 洋 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 電気電子システム工学科 学士(工学)	工学関係	4年	125人	3年次 5人	510人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	125人 (-) [若干名]	人	人	人	人	人	人	人	1.01倍	
志願者数	470 (-) [12]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	273 (-) [10]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	159 (-) [4]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	127 (-) [3]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.01									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	127 [3] (-)	[] ()							
2年次	/		[] ()						
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	127 [3] (-)	[] ()							

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	127 人	0 人	平成30年度	人	人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合 計	127 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{127} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学部 電気電子システム工学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
入門科目	大学入門ゼミ	1前	2			3	1					兼1
	茨城学	1②③	2									兼13
共通基礎科目	ブラクティカル・イングリッシュ(PE)											
	Integrated English I A	1前		2								兼5
	Integrated English II A	1前		2								兼11
	Integrated English III A	1前		2								兼1
	Integrated English I B	1後		1								兼5
	Integrated English II B	1後		1								兼11
	Integrated English III B	1後		1								兼2
	Advanced English I A	2前		1								兼1
	Advanced English I B	2後		1								兼1
	Advanced English II A	2・3前		1								兼4
	Advanced English II B	2後		1								兼4
	Advanced English III A	2・3前		1								兼5
	Advanced English III B	2後		1								兼1
	Advanced English III C	2・3前		1								兼2
	情報リテラシー	1前	2				2					
	心と体の健康											
	身体活動	1前後	1									兼4
	身体活動	2前後	1									兼5
	健康の科学	1①~④	1									兼2
	科学の基礎											
	数学基礎	1①②	1									兼2
	物理学基礎	1①②	1									兼3
	化学基礎	1①②	1									兼2
	生物学基礎	1①②	1									兼1
	微積分学	1前	2			2						兼1
	微積分学入門	1①	2									兼2
	微積分学基礎	1②	2									兼2
	力と運動	1前	2				2					兼1
力学入門	1①	2									兼2	
力学基礎	1②	2									兼2	
科学と倫理B	2前後	2									兼2	
リベラルアーツ科目	多文化理解											
	異文化コミュニケーション											
	ドイツ語入門	1後	1									兼3
	フランス語入門	1後	1									兼2
	中国語入門	1後	1									兼8
	朝鮮語入門	1後	1									兼2
	スペイン語入門	1後	1									兼2
	学術日本語 I	1前後	1									兼2
	学術日本語 II A	1前後・2前	1									兼2
	学術日本語 II B	1前	1									兼1
	学術日本語 II C	1後	1									兼1
	人間とコミュニケーション	1③~③②	1									兼6
	多文化共生	1③~③②	1									兼1
	コミュニケーションと芸術文化	1③~③②	1									兼4
	ヒューマニティーズ											
	思想・文学	1③~③②	1									兼3
	歴史・考古学	1③~③②	1									兼6
	人間科学	1③~③②	1									兼5
	メディア文化	1③~③②	1									兼2

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
入門科目	大学入門ゼミ	1前	2						4	1		
	茨城学	1②③	2									兼8
共通基礎科目	ブラクティカル・イングリッシュ(PE)											
	Integrated English I A	1前		2								兼4
	Integrated English II A	1前		2								兼15
	Integrated English III A	1前		2								兼3
	Integrated English I B	1後		1								兼4
	Integrated English II B	1後		1								兼15
	Integrated English III B	1後		1								兼4
	Advanced English I A	2前		1								兼2
	Advanced English I B	2後		1								兼2
	Advanced English II A	2・3前		1								兼4
	Advanced English II B	2後		1								兼3
	Advanced English III A	2・3前		1								兼3
	Advanced English III B	2後		1								兼3
	Advanced English III C	2・3前		1								兼1
	情報リテラシー	1前	2						1	1		
	心と体の健康											
	身体活動	1前後	1									兼6
	身体活動	2前後	1									兼1
	健康の科学	1①~④	1									兼5
	科学の基礎											
	数学基礎	1①②	1									兼2
	物理学基礎	1①②	1									兼2
	化学基礎	1①②	1									兼2
	生物学基礎	1①②	1									兼1
	微積分学	1前	2						1	1		兼7
	微積分学入門	1①	2									兼1
	微積分学基礎	1②	2									兼1
	力と運動	1前	2						1			兼8
力学入門	1①	2									兼1	
力学基礎	1②	2									兼1	
科学と倫理B	2前後	2									兼2	
リベラルアーツ科目	多文化理解											
	異文化コミュニケーション											
	ドイツ語入門	1後	1									兼6
	フランス語入門	1後	1									兼2
	中国語入門	1後	1									兼9
	朝鮮語入門	1後	1									兼3
	スペイン語入門	1後	1									兼2
	学術日本語 I	1前後	1									兼2
	学術日本語 II A	1前後・2前	1									兼2
	学術日本語 II B	1前	1									兼1
	学術日本語 II C	1後	1									兼2
	人間とコミュニケーション	1③~③②	1									兼10
	多文化共生	1③~③②	1									兼4
	コミュニケーションと芸術文化	1③~③②	1									兼5
	ヒューマニティーズ											
	思想・文学	1③~③②	1									兼9
	歴史・考古学	1③~③②	1									兼11
	人間科学	1③~③②	1									兼10
	メディア文化	1③~③②	1									兼6

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
リベラルアーツ科目	パフォーマンス&アート												
	スポーツ文化	1③~ 3②	1									兼1	
	音楽文化	1③~ 3②	1									兼1	
	美術文化	1③~ 3②	1									兼3	
	ダンス・演劇文化	1③~ 3②	1									兼1	
	自然と社会の広がり												
	自然・環境と人間												
	物質と生命	1③~ 3④	1									兼6	
	技術と社会	1③~ 3④	1			4						兼5	
	環境と人間	1③~ 3④	1			4						兼20	
	グローバル化と人間社会												
	法律・政治	1③~ 3④	1									兼4	
	経済・経営	1③~ 3④	1									兼5	
	日本国憲法	2①~ 3②	1									兼2	
	公共社会	1③~ 3④	1									兼6	
グローバル・スタディーズ	1③~ 3④	1									兼4		
キャリアを考える													
ライフデザイン													
ライフデザイン	3①②	1										兼8	
全学共通科目	グローバル英語プログラム科目												
	Academic Writing	2③	1									兼1	
	Studies in Particular Fields	2③	1									兼1	
	Reading & Discussion	2④	1									兼1	
	Academic Speaking	2④	1									兼1	
	Presentations in English	3①	1									兼1	
	TOEIC & TOEFL	3②	1									兼1	
	English for Socializing	3③	1									兼1	
	Studying Abroad	3③	1									兼1	
	Bilingualism	3④	1									兼1	
	Studies in Contemporary Japan	3④	1									兼1	
	日本語教育プログラム科目												
	日本語教育概論	2前	2										兼1
	多文化社会と日本語教育	2前	2										兼1
	日本語教授法 I	2後	2										兼1
	日本語教授法 II	3前	2										兼1
	日本語教授法演習	3後・ 4前	2										兼5
	日本語教授法演習(海外)	3後・ 4前	2										兼5
	COE地域教育プログラム科目												
	5学部混合地域PBL I	1前	2										兼1
	5学部混合地域PBL II	2前	2										兼1
	5学部混合地域PBL III	1前	2										兼1
5学部混合地域PBL IV	1前	2										兼2	
AIMSプログラム科目													
地域サステナビリティ学概論	2後	1										兼3	
環境共生論	2後	2										兼6	
環境保全型農業論	2後	2										兼6	
フィールド実践演習	2後	1										兼1	
環境変動適応・防災論	2後	2										兼3	
地域環境管理論	2後	2										兼3	
地域サステナビリティ学特別講義 I	2後	1										兼2	
地域サステナビリティ学特別講義 II	2後	1										兼2	
地域サステナビリティ学セミナー	3後	1										兼60	
地域サステナビリティ学ラボワーク	3後	2										兼60	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
リベラルアーツ科目	パフォーマンス&アート												
	スポーツ文化	1③~ 3②	1										兼1
	音楽文化	1③~ 3②	1										兼3
	美術文化	1③~ 3②	1										兼5
	ダンス・演劇文化	1③~ 3②	1										兼1
	自然と社会の広がり												
	自然・環境と人間												
	物質と生命	1③~ 3④	1										兼11
	技術と社会	1③~ 3④	1					3	1				兼10
	環境と人間	1③~ 3④	1										兼15
	グローバル化と人間社会												
	法律・政治	1③~ 3④	1										兼4
	経済・経営	1③~ 3④	1										兼4
	日本国憲法	2①~ 3②	1										兼1
	公共社会	1③~ 3④	1										兼10
グローバル・スタディーズ	1③~ 3④	1										兼4	
キャリアを考える													
ライフデザイン													
ライフデザイン	3①②	1						1				兼2	
全学共通科目	グローバル英語プログラム科目												
	Academic Writing	2③~ 3④	1										兼1
	Studies in Particular Fields	2③~ 3④	1										兼2
	Reading & Discussion	2③~ 3④	1										兼3
	Academic Speaking	2③~ 3④	1										兼3
	Presentations in English	2③~ 3④	1										兼1
	TOEIC & TOEFL	2③~ 3④	1										兼1
	English for Socializing	2③~ 3④	1										兼1
	Studying Abroad	2③~ 3④	1										兼1
	Bilingualism	2③~ 3④	1										兼1
	Studies in Contemporary Japan	2③~ 3④	1										兼1
	日本語教育プログラム科目												
	日本語教育概論	2前	2										兼1
	多文化社会と日本語教育	2前	2										兼2
	日本語教授法 I	2後	2										兼1
	日本語教授法 II	3前	2										兼1
	日本語教授法演習	3後・ 4前	2										兼5
	日本語教授法演習(海外)	3後・ 4前	2										兼5
	COE地域教育プログラム科目												
	5学部混合地域PBL I	1前	2										兼1
	5学部混合地域PBL II	2前	2										兼1
	5学部混合地域PBL III	1後	2										兼2
5学部混合地域PBL IV	1前	2										兼3	
AIMSプログラム科目													
地域サステナビリティ学概論	2後	1											兼2
環境共生論	2後	2											兼4
環境保全型農業論	2後	2											兼6
フィールド実践演習	2後	1											兼1
環境変動適応・防災論	2後	2											兼3
地域環境管理論	2後	2											兼3
地域サステナビリティ学特別講義 I	2後	1											兼1
地域サステナビリティ学特別講義 II	2後	1											兼3
地域サステナビリティ学セミナー	3後	1											兼57
地域サステナビリティ学ラボワーク	3後	2											兼57

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
												修	択	由
学部共通専門基礎教育科目	多変数の微積分学	1後	2			1	1						兼2	
	線形代数 I	1前	2										兼1	
	常微分方程式	2前	2			1							兼1	
	化学概論	1前	1										兼1	
	電磁気学概論	1後	1			1							兼1	
	情報スキル	1後	1										兼1	
	プログラミング演習 I	2前	2				1						兼1	
	工学実用英語	3後	1										兼6	
	学科共通専門基礎教育科目	電気磁気学 I	1後	1※			1							兼1
		電気磁気学 II	2前	2			2							
電気磁気学 II 演習		2前	2			1	1							
電気磁気学 III		2後	2			1							兼1	
電気磁気学 III 演習		2後	2				1	1						
複素解析		2前	2										兼2	
電気回路 I		1後	2			2								
電気回路 II		2前	2				1			1				
電気電子計測		2前	2				1						兼1	
フーリエ変換と波形解析		2前	2			1	1							
論理回路		2後	2				1	1						
ラプラス変換と過渡現象		2後	2			1		1						
半導体工学 I		2後	2				2							
アナログ電子回路		2後	2					1						
電気電子工学実験 I		2後	3				2	1	2					
プログラミング演習 II		2後	2				1						兼1	
基礎電気物理入門		1前		2		1	1							
線形代数 II		1後		2									兼2	
電気回路 III	2後		2		2									
基礎物理学	2前		2									兼2		
量子力学	2後		2									兼2		
職業指導	2前			2								兼1		
プログラム横断科目	電気電子工学実験 II	3前	3			1	4	2					兼1	
	電気電子工学プレゼンテーション	4前	1			9	13	4	5					
	確率統計	3前	1			1	1							
	情報理論	3前	1			1	1							
	デジタル信号処理	3前	2			1								
	組込みシステム実践基礎	4前	1			9	13	4	2					
	応用電子回路	3前		2			1	1						
	制御工学 I	3前		2			1			1				
	制御工学 II A	3後		1			2							
	制御工学 II B	3後		1			2							
	電気電子材料 I	3後		1		1	1							
	電気電子材料 II	3後		1		1	1							
	電磁波工学 I	3後		1		1		1						
	電磁波工学 II	3後		1		1		1						
	センサ工学	4前		2		1	1							
	情報ネットワーク I	3後		1		1	1							
	情報ネットワーク II	3後		1		1	1							
	電子計算機工学	3前		2			1							
アルゴリズムとデータ構造演習	3前		2			2								
電気電子工学インターンシップ	3後		2		1									
エネルギーシステムプログラム	エネルギー工学 I	3後		1				1						
	エネルギー工学 II	3後		1				1						
	電気機器学	3前		2			1							
	パワーエレクトロニクス I	3後		1			1							
	パワーエレクトロニクス II	3後		1			1							
	電力工学 I	3後		1		1								
	電力工学 II	3後		1		1								
	プラズマ工学 I	3後		1			1						兼1	
	プラズマ工学 II	3後		1			1						兼1	
	高電圧パルスパワー工学	3前		2		1								
電気電子工学設計	4前		2									兼1		
電気法規及び施設管理	4前		1						1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
												修	択	由
学部共通専門基礎教育科目	多変数の微積分学	1後	2			1	1							
	線形代数 I	1前	2										兼2	
	常微分方程式	2前	2					1					兼1	
	化学概論	1前	1										兼1	
	電磁気学概論	1後	1			1							兼1	
	情報スキル	1後	1										兼1	
	プログラミング演習 I	2前	2				1						兼1	
	工学実用英語	3後	1							1			兼6	
	学科共通専門基礎教育科目	電気磁気学 I	1後	1※			1							兼1
		電気磁気学 II	2前	2			2							
電気磁気学 II 演習		2前	2			1	1							
電気磁気学 III		2後	2			1							兼1	
電気磁気学 III 演習		2後	2				1	1						
複素解析		2前	2										兼2	
電気回路 I		1後	2			2								
電気回路 II		2前	2				1			1				
電気電子計測		2前	2				1						兼1	
フーリエ変換と波形解析		2前	2			1	1							
論理回路		2後	2				1	1		1				
ラプラス変換と過渡現象		2後	2			1		1		1				
半導体工学 I		2後	2				2							
アナログ電子回路		2後	2					1		1				
電気電子工学実験 I		2後	3				2	1	2					
プログラミング演習 II		2後	2				1						兼1	
基礎電気物理入門		1前		2		1	1							
線形代数 II		1後		2									兼2	
電気回路 III	2後		2		2									
基礎物理学	2前		2									兼2		
量子力学	2後		2									兼2		
職業指導	2前			2								兼1		
プログラム横断科目	電気電子工学実験 II	3前	3			1	4	2					兼1	
	電気電子工学プレゼンテーション	4前	1			9	13	4	5					
	確率統計	3前	1			1	1							
	情報理論	3前	1			1	1							
	デジタル信号処理	3前	2			1								
	組込みシステム実践基礎	4前	1			9	13	4	2					
	応用電子回路	3前		2			1	1						
	制御工学 I	3前		2			1			1				
	制御工学 II A	3後		1			2							
	制御工学 II B	3後		1			2							
	電気電子材料 I	3後		1		1	1							
	電気電子材料 II	3後		1		1	1							
	電磁波工学 I	3後		1		1		1						
	電磁波工学 II	3後		1		1		1						
	センサ工学	4前		2		1	1							
	情報ネットワーク I	3後		1		1	1							
	情報ネットワーク II	3後		1		1	1							
	電子計算機工学	3前		2			1							
アルゴリズムとデータ構造演習	3前		2			2								
電気電子工学インターンシップ	3後		2		1									
エネルギーシステムプログラム	エネルギー工学 I	3後		1				1						
	エネルギー工学 II	3後		1				1						
	電気機器学	3前		2			1							
	パワーエレクトロニクス I	3後		1			1							
	パワーエレクトロニクス II	3後		1			1							
	電力工学 I	3後		1		1								
	電力工学 II	3後		1		1								
	プラズマ工学 I	3後		1			1						兼1	
	プラズマ工学 II	3後		1			1						兼1	
	高電圧パルスパワー工学	3前		2		1								
電気電子工学設計	4前		2									兼1		
電気法規及び施設管理	4前		1						1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
エレクトロニクスプログラム	半導体工学Ⅱ	3前	2			1						
	通信工学Ⅰ	3後	1			1						
	通信工学Ⅱ	3後	1			1						
	集積回路工学Ⅰ	3後	1				1					
	集積回路工学Ⅱ	3後	1				1					
	光波工学	3前	2			1						
	量子エレクトロニクスⅠ	3後	1				1					
	量子エレクトロニクスⅡ	3後	1				1					
	画像処理	4前	2				1					
	LSIシステム設計工学	4前	2			1						
電子回路演習	3後	1				1						
卒業研究	4通	8			9	13	4	5	0		兼3	
学部共通科目	工業日本語ゼミナールⅠ	2-3-4前	2									兼1
	工業日本語ゼミナールⅡ	2-3-4後	2									兼1
	日本語情報処理Ⅰ	2-3-4前	2									兼1
	日本語情報処理Ⅱ	2-3-4後	2									兼1
	工業日本語Ⅰ	2-3-4前	2									兼1
	工業日本語Ⅱ	2-3-4後	2									兼1
	工業日本語演習Ⅰ	2-3-4前	1									兼1
	工業日本語演習Ⅱ	2-3-4後	1									兼1
	工学概論	2-3-4前	2									兼11
	知的財産法	2-3-4後	1									兼1
	原子力工学概論	2-3-4後	2			2						兼8
	工学地域PBL実習	2-3-4通	2									兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
エレクトロニクスプログラム	半導体工学Ⅱ	3前	2			1						
	通信工学Ⅰ	3後	1			1						
	通信工学Ⅱ	3後	1			1						
	集積回路工学Ⅰ	3後	1				1					
	集積回路工学Ⅱ	3後	1				1					
	光波工学	3前	2			1						
	量子エレクトロニクスⅠ	3後	1				1					
	量子エレクトロニクスⅡ	3後	1				1					
	画像処理	4前	2				1					
	LSIシステム設計工学	4前	2			1						
電子回路演習	3後	1				1						
卒業研究	4通	8				13	12	3	3	0	兼3	
学部共通科目	工業日本語ゼミナールⅠ	2-3-4前	2									兼1
	工業日本語ゼミナールⅡ	2-3-4後	2									兼1
	日本語情報処理Ⅰ	2-3-4前	2									兼1
	日本語情報処理Ⅱ	2-3-4後	2									兼1
	工業日本語Ⅰ	2-3-4前	2									兼1
	工業日本語Ⅱ	2-3-4後	2									兼1
	工業日本語演習Ⅰ	2-3-4前	1									兼1
	工業日本語演習Ⅱ	2-3-4後	1									兼1
	工学概論	2-3-4前	2									兼12
	知的財産法	2-3-4後	1									兼1
	原子力工学概論	2-3-4後	2			2						兼8
	工学地域PBL実習	2-3-4通	2									兼1

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

・担当教員見直しのため、	「茨城学」の専任教員等の配置を「兼13」から「兼8」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Integrated English I A」「Integrated English I B」の兼任・兼任を「兼5」から「兼4」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Integrated English II A」「Integrated English II B」の兼任・兼任を「兼11」から「兼15」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Integrated English III A」の兼任・兼任を「兼1」から「兼3」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Integrated English III B」の兼任・兼任を「兼2」から「兼4」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Advanced English I A」「Advanced English I B」の兼任・兼任を「兼1」から「兼2」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Advanced English II A」「Advanced English II B」の兼任・兼任を「兼4」から「兼3」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Advanced English III A」の兼任・兼任を「兼5」から「兼3」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Advanced English III B」の兼任・兼任を「兼1」から「兼3」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Advanced English III C」の兼任・兼任を「兼2」から「兼1」に変更。
・担当教員見直しのため、	「情報リテラシー」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1、准教授1」に変更。
・担当教員見直しのため、	「身体活動（必修）」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼6」に変更。
・担当教員見直しのため、	「身体活動（選択）」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼1」に変更。
・担当教員見直しのため、	「健康の科学」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼5」に変更。
・担当教員見直しのため、	「物理学基礎」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
・担当教員見直しのため、	「化学基礎」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・担当教員見直しのため、	「微積分学」の専任教員等の配置を「教授2、兼1」から「教授2、准教授1、兼7」に変更。
・担当教員見直しのため、	「微積分学入門」「微積分学基礎」「力学入門」「力学基礎」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・担当教員見直しのため、	「力と運動」の専任教員等の配置を「准教授2、兼1」から「教授1、兼8」に変更。
・担当教員見直しのため、	「ドイツ語入門」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼6」に変更。
・担当教員見直しのため、	「中国語入門」の専任教員等の配置を「兼8」から「兼9」に変更。
・担当教員見直しのため、	「朝鮮語入門」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
・担当教員見直しのため、	「学術日本語ⅡC」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・担当教員見直しのため、	「人間とコミュニケーション」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼10」に変更。
・担当教員見直しのため、	「多文化共生」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
・担当教員見直しのため、	「コミュニケーションと芸術文化」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼5」に変更。
・担当教員見直しのため、	「思想・文学」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼9」に変更。
・担当教員見直しのため、	「歴史・考古学」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼11」に変更。
・担当教員見直しのため、	「人間科学」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼10」に変更。
・担当教員見直しのため、	「メディア文化」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼6」に変更。
・担当教員見直しのため、	「音楽文化」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
・担当教員見直しのため、	「美術文化」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼5」に変更。
・担当教員見直しのため、	「物質と生命」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼11」に変更。
・担当教員見直しのため、	「技術と社会」の専任教員等の配置を「教授4、兼5」から「教授3、准教授1、兼10」に変更。
・担当教員見直しのため、	「環境と人間」の専任教員等の配置を「教授4、兼20」から「教授0、兼15」に変更。
・担当教員見直しのため、	「経済・経営」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼4」に変更。
・担当教員見直しのため、	「日本国憲法」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・担当教員見直しのため、	「公共社会」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼10」に変更。
・担当教員見直しのため、	「グローバル・スタディーズ」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼5」に変更。
・担当教員見直しのため、	「ライフデザイン」の専任教員等の配置を「兼8」から「教授1、兼2」に変更。
・時間割見直しのため、	「グローバル英語プログラム科目」の配当年次を「2③④」から「2③～3④」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Academic Writing」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Studies in Particular Fields」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Reading & Discussion」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Academic Speaking」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
・担当教員見直しのため、	「多文化社会と日本語教育」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・時間割見直しのため、	「5学部混合地域PBLⅢ」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
・担当教員見直しのため、	「5学部混合地域PBLⅢ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・教育内容の充実のため、	「5学部混合地域PBLⅣ」を追加。
・担当教員見直しのため、	「地域サステナビリティ学概論」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
・担当教員見直しのため、	「環境共生論」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼4」に変更。
・担当教員見直しのため、	「地域サステナビリティ学特別講義Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・担当教員見直しのため、	「地域サステナビリティ学特別講義Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
・担当教員見直しのため、	「地域サステナビリティ学ゼミナール」の専任教員等の配置を「兼60」から「兼57」に変更。
・担当教員見直しのため、	「地域サステナビリティ学ラボワーク」の専任教員等の配置を「兼60」から「兼57」に変更。
・昇進、退職のため、	「電気磁気学Ⅲ演習」の専任教員等の配置を「准教授1、講師1」から「教授1」に変更。
・退職のため、	「電気電子工学実験Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授2、講師1、助教2」から「准教授2、助教2」に変更。
・昇進のため、	「電気電子工学実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授4、講師2」から「教授2、准教授3、講師2」に変更。
・昇進、退職及び担当教員見直しのため、	「電気電子工学プレゼンテーション」の専任教員等の配置を「教授9、准教授13、講師4、助教5」から「教授13、准教授12、講師3、助教3」に変更。
・昇進、退職及び担当教員見直しのため、	「組込みシステム実践基礎」の専任教員等の配置を「教授9、准教授13、講師4、助教2」から「教授13、准教授12、講師3、助教2」に変更。
・担当教員退職のため、	「電磁波工学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」から「教授1」に変更。
・担当教員退職のため、	「電磁波工学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」から「教授1」に変更。
・昇進のため、	「情報ネットワークⅠ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授2」に変更。
・昇進のため、	「情報ネットワークⅡ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授2」に変更。
・担当教員退職のため、	「プラズマ工学Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
・担当教員退職のため、	「プラズマ工学Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
・昇進、退職及び担当教員見直しのため、	「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授9、准教授13、講師4、助教5」から「教授13、准教授12、講師3、助教3」に変更。
・担当教員見直しのため、	「工学概論」の兼任・兼任を「兼11」から「兼12」に変更。

(注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
37 科目	136 科目	1 科目	174 科目	37 科目 []	137 科目 [1]	1 科目 []	175 科目 [1]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{174} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	369,215㎡	㎡	㎡	369,215㎡			
	運動場用地	114,255㎡	㎡	㎡	114,255㎡			
	小 計	483,470㎡	㎡	㎡	483,470㎡			
	そ の 他	315,124㎡	㎡	㎡	315,124㎡			
	合 計	798,594㎡	㎡	㎡	798,594㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		147,665㎡ (147,665㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	147,665㎡ (147,665㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		27室	3室	130室	0室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		工学部 電気電子システム工学科			31 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	学部単位での特定不能な ため、大学全体の数
	工学部 電気電子システム工学科	1,008,826 (282,013) (1,008,826 [282,013])	16,462 [4,704] (16,462 [4,704])	2,430 [2,429] (2,430 [2,429])	3,123 (3,123)	— ()	— ()	
	計	1,008,826 (282,013) (1,008,826 [282,013])	16,462 [4,704] (16,462 [4,704])	2,430 [2,429] (2,430 [2,429])	3,123 (3,123)	— ()	— ()	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		11,986㎡		997	958,000		大学全体	
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		3,160㎡		テニスコート7面	プール (25m×15m) 1基		大学全体	
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	茨城大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文社会科学部									
現代社会学科	4	130	—	520	学士 (現代社会学)	1.03	平成29年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
法律経済学科	4	120	—	480	学士 (社会科学)	1.03	平成29年度	同上	
人間文化学科	4	110	—	440	学士 (人文科学)	1.05	平成29年度	同上	
人文学部									
人文コミュニケーション学科	4	—	—	—	学士 (人文科学)	—	平成18年度	同上	平成29年度より学生募集停止
社会科学科	4	—	—	—	学士 (社会科学)	—	昭和50年度	同上	平成29年度より学生募集停止
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	240	—	960	学士 (教育学)	1.05	平成8年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
養護教諭養成課程	4	35	—	140	学士 (教育学)	1.03	昭和50年度	同上	
情報文化課程	4	—	—	—	学士 (教養)	—	平成元年度	同上	平成29年度より学生募集停止
人間環境教育課程	4	—	—	—	学士 (教養)	—	平成11年度	同上	平成29年度より学生募集停止
理学部									
理学科	4	205	4	828	学士 (理学)	1.05	平成17年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
工学部									
機械システム工学科	4	130	6	532	学士 (工学)	1.06	平成30年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	
機械システム工学科(夜)	4	40	—	160	学士 (工学)	1.02	平成30年度	同上	
電気電子システム工学科	4	125	5	510	学士 (工学)	1.01	平成30年度	同上	
物質科学工学科	4	110	3	446	学士 (工学)	1.00	平成30年度	同上	
情報工学科	4	80	4	328	学士 (工学)	1.02	平成30年度	同上	
都市システム工学科	4	60	2	244	学士 (工学)	1.03	平成30年度	同上	
機械工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成2年度	同上	平成30年度より学生募集停止
生体分子機能工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17年度	同上	平成30年度より学生募集停止
マテリアル工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17年度	同上	平成30年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成2年度	同上	平成30年度より学生募集停止
メディア通信工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成8年度	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17年度	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学科(B)	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17年度	同上	平成30年度より学生募集停止
農学部									
食生命科学科	4	80	5	330	学士 (農学)	1.04	平成29年度	茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1	

地域総合農学科	4	80	5	330	学士 (農学)	1.06	平成29年度	同上	
生物生産科学科	4	—	—	—	学士 (農学)	—	平成12年度	同上	平成29年度より学生募集停止
資源生物科学科	4	—	—	—	学士 (農学)	—	昭和62年度	同上	平成29年度より学生募集停止
地域環境科学科	4	—	—	—	学士 (農学)	—	平成12年度	同上	平成29年度より学生募集停止
人文社会科学研究科									
文化科学専攻	2	13	—	26	修士 (学術)	0.88	平成21年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
社会科学専攻	2	12	—	24	修士 (学術)	1.41	平成26年度	同上	
地域政策専攻	2	—	—	—	修士 (学術)	—	平成6年度	同上	平成26年度より学生募集停止
教育学研究科									
障害児教育専攻	2	3	—	6	修士 (教育学)	1.16	昭和63年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
教科教育専攻	2	22	—	44	修士 (教育学)	1.20	昭和63年度	同上	
養護教育専攻	2	3	—	6	修士 (教育学)	0.83	平成9年度	同上	
学校臨床心理専攻	2	9	—	18	修士 (教育学)	1.16	平成13年度	同上	
教育実践高度化専攻	2	15	—	30	教職修士 (専門職)	1.03	平成28年度	同上	
理工学研究科									
(博士前期課程)									
量子線科学専攻	2	102	—	204	修士(理学) 修士(工学)	0.91	平成28年度	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
理学専攻	2	45	—	90	修士 (理学)	1.21	平成21年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
機械システム工学専攻	2	86	—	172	修士 (工学)	1.36	平成30年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	
電気電子システム工学専攻	2	58	—	116	修士 (工学)	1.05	平成30年度	同上	
情報工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	1.40	平成30年度	同上	
都市システム工学専攻	2	27	—	54	修士 (工学)	1.03	平成30年度	同上	
機械工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成7年度	同上	平成30年度より学生募集停止
電気電子工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成7年度	同上	平成30年度より学生募集停止
IT通信工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成12年度	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成21年度	同上	平成30年度より学生募集停止
応用粒子線科学専攻	2	—	—	—	修士(理学) 修士(工学)	—	平成16年度	同上	平成28年度より学生募集停止
(博士後期課程)									
量子線科学専攻	3	20	—	60	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.60	平成28年度	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
複雑系システム科学専攻	3	10	—	30	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.90	平成28年度	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
社会システム科学専攻	3	8	—	24	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.62	平成28年度	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
物質科学専攻	3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	平成7年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
生産科学専攻	3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	平成7年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
情報・システム科学専攻	3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	平成7年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
宇宙地球システム科学専攻	3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	平成7年度	茨城県水戸市文京2-1-1	平成28年度より学生募集停止

環境機能科学専攻	3	—	—	—	博士（理学） 博士（工学） 博士（学術）	—	平成8年度	茨城県水戸市文京2-1-1	平成28年度より学生募集停止
応用粒子線科学専攻	3	—	—	—	博士（理学） 博士（工学） 博士（学術）	—	平成16年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
農学研究科									
農学専攻	2	48	—	96	修士 （農学）	0.77	平成29年度	茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1	
生物生産科学専攻	2	—	—	—	修士 （農学）	—	平成16年度	同上	平成29年度より学生募集停止
資源生物科学専攻	2	—	—	—	修士 （農学）	—	平成3年度	同上	平成29年度より学生募集停止
地域環境科学専攻	2	—	—	—	修士 （農学）	—	平成16年度	同上	平成29年度より学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については，必ず記入するとともに，下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
9	13	4	5	31	13	12	3	3	31	11	12	3	4	30
(13)	(12)	(3)	(3)	(31)						[2]	[Δ1]	[Δ1]	[Δ1]	[Δ1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{30}{31} = \boxed{96.77} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{31} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 **該当なし**

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授		必修				
			選択				
			必修				
2	准教授		自由				
			必修				
			必修				
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	講師		必修	電気磁気学Ⅲ演習	①	H29.6.15付け私事都合のため辞任 (30)	
			選択	電磁波工学Ⅰ	①		
			選択	電磁波工学Ⅱ	①		
			必修	電気電子工学実験Ⅰ	①		
			必修	電気電子工学プレゼンテーション	①		
			必修	組込みシステム実践基礎	①		
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	5 科目	必修	5 科目	必修	0 科目
		選択	2 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	7 科目	計	7 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	5 科目	必修	5 科目	必修	0 科目
		選択	2 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	7 科目	計	7 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{1}{31} = \boxed{3.22} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授		必修				
			選択				
			必修				
2	准教授		自由				
			必修				
			必修				
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>専任教員の辞任があったが全て複数人で担当する科目であり、既存の担当専任教員で開講可能である。また、これらの科目は2年次以降に開講される科目であり、今年度において学生の混乱は生じていない。 年度開始時に学生に配布する時間割一覧に変更後の情報を記載することで学生に周知を行う。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等 該当なし

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・大学設置基準に抵触 するため、改めるこ と。(△△学部△△学 科)	留意事項	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・〇〇学部〇〇学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(◆◆学 科、●●学科)の～す ること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)	・〇〇学部〇〇学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(◆◆学 科、●●学科)の～す ること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・××学部××学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(□□学 科、■●学科)の～す ること。	改善意見	履行済

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<工学部 電気電子システム工学科>

(1) 設置計画変更事項等 該当なし

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 A. 教育改善委員会 B. ②産学協同カリキュラム改良委員会 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) A. 学期始めを中心に、年6回程度開催 B. 年1回～2回程度開催 c 委員会の審議事項等 A. -1 授業アンケート及び学科教育点検に関すること -2 FD及び推奨授業に関すること -3 JABEEに関すること B. カリキュラム及び授業に関すること ② 実施状況 a 実施内容 A. 第1回(H29.4.27 出席者9名) 授業アンケートについて、推奨授業について 他 第2回(H29.5.22 出席者11名) 授業アンケートについて、学科教育点検について、JABEEについて 他 第3回(H29.9.13 出席者10名) 推奨授業について、学科教育点検について、JABEEについて 他 第4回(H29.10.17 出席者11名) 推奨授業について、学科教育点検について、FD研修会について 他 第5回(H29.11.17 出席者9名) 授業アンケートについて、推奨授業について、JABEEについて 他 第6回(H29.12.22 出席者9名) 授業アンケートについて、学科教育点検について、FD研修会について 他 第7回(H30.2.14 出席者10名) FD研修会について、H30活動計画について 他 ・FD研修会の実施(H29.12.13 出席者119名) B. 第1回(H29.12.22 出席者19名) 学部及び大学院の授業について b 実施方法 上記のとおり c 開催状況(教員の参加状況含む) 上記のとおり d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 上記A及びBの審議を踏まえ、学科長から所属各教員に改善内容を周知し、それぞれが改善に取り組んでいる。
--

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各学期の講義最終回にアンケートを実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

結果を担当教員に周知するほか、学科内で共有を図っている。

学生に対して公表はしていない。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

計画どおり実施している。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って計画どおり教育研究活動を実施する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成30年7月30日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定(平成30年7月末を予定)

③ 認証評価を受ける計画

・平成34年度に評価機関(大学改革支援・学位授与機構)の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表(予定)の有無 (有 無)

b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (平成30年 9月 1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

注3

大学番号：015

[平成30年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

茨城大学 工学部 物質科学工学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人茨城大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部総務課

職名・氏名 課長補佐（法規担当）
ハセガワ シンゴ
長谷川 慎吾

電話番号 029-228-8009

（夜間） 029-228-8035

F A X 029-228-8019

e-mail iba-houki@ml.ibaraki.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学部

<物質科学工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	15
6. 留意事項等に対する履行状況等	42
7. その他全般的事項	44

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人茨城大学

(2) 大学名

茨城大学

(3) 大学の位置

〒316-8511
茨城県日立市中成沢町4-12-1

[〒310-8512
茨城県水戸市文京2-1-1]

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ミムラ ノブオ) 三村 信男 (平成26年9月)		
学部長	(マスザワ トオル) 増澤 徹 (平成30年4月)		
学科長等	(スズキ テツヤ) 鈴木 徹也 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 物質科学工学科 学士(工学)	工学関係	4年	110人	3年次 3人	446人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	110人 (-) [若干名]	人	人	人	人	人	人	人	1.00倍	
志願者数	408 (-) [14]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	257 (-) [8]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	146 (-) [3]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	111 (-) [1]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.00									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	111 [1] (-)	[] ()							
2年次	/		[] ()						
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	111 [1] (-)	[] ()							

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	111 人	0 人	平成30年度	人	人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合 計	111 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{111} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学部 物質科学工学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
入門科目	大学入門ゼミ	1前	2				1				兼1	
	茨城学	1②③	2				1				兼12	
共通基礎科目	フロンティア・イングリッシュ(PE)											
	Integrated English I A	1前	2								兼5	
	Integrated English II A	1前	2								兼11	
	Integrated English III A	1前	2								兼1	
	Integrated English I B	1後	1								兼5	
	Integrated English II B	1後	1								兼11	
	Integrated English III B	1後	1								兼2	
	Advanced English I A	2前	1								兼1	
	Advanced English I B	2後	1								兼1	
	Advanced English II A	2・3前	1								兼4	
	Advanced English II B	2後	1								兼4	
	Advanced English III A	2・3前	1								兼5	
	Advanced English III B	2後	1								兼1	
	Advanced English III C	2・3前	1								兼2	
	情報リテラシー											
	情報リテラシー	1前	2			1	1	2				
	心と体の健康											
	身体活動	1前後	1									兼3
	身体活動	2前後	1									兼4
	健康の科学	1①~④	1									兼2
	科学の基礎											
	数学基礎	1①②	1									兼2
	物理学基礎	1①②	1									兼3
	化学基礎	1①②	1									兼2
	生物学基礎	1①②	1									兼1
	微積分学	1前	2			1						兼2
微積分学入門	1①	2									兼2	
微積分学基礎	1②	2									兼2	
力と運動	1前	2									兼3	
力学入門	1①	2									兼2	
力学基礎	1②	2									兼2	
科学と倫理B	2前後	2									兼2	
リベラルアーツ科目	多文化理解											
	異文化コミュニケーション											
	ドイツ語入門	1後	1								兼3	
	フランス語入門	1後	1								兼2	
	中国語入門	1後	1								兼8	
	朝鮮語入門	1後	1								兼2	
	スペイン語入門	1後	1								兼2	
	学術日本語 I	1前後	1								兼2	
	学術日本語 II A	1前後	1								兼2	
	学術日本語 II B	1前	1								兼1	
	学術日本語 II C	1後	1								兼1	
	人間とコミュニケーション	1③~③②	1								兼6	
	多文化共生	1③~③②	1								兼1	
	コミュニケーションと芸術文化	1③~③②	1								兼4	
	ヒューマニティーズ											
	思想・文学	1③~③②	1								兼3	
	歴史・考古学	1③~③②	1								兼6	
	人間科学	1③~③②	1								兼5	
	メディア文化	1③~③②	1								兼2	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
入門科目	大学入門ゼミ	1前	2				1	1				
	茨城学	1②③	2				1				兼8	
共通基礎科目	フロンティア・イングリッシュ(PE)											
	Integrated English I A	1前	2								兼4	
	Integrated English II A	1前	2								兼15	
	Integrated English III A	1前	2								兼3	
	Integrated English I B	1後	1								兼4	
	Integrated English II B	1後	1								兼15	
	Integrated English III B	1後	1								兼4	
	Advanced English I A	2前	1								兼2	
	Advanced English I B	2後	1								兼2	
	Advanced English II A	2・3前	1								兼4	
	Advanced English II B	2後	1								兼3	
	Advanced English III A	2・3前	1								兼3	
	Advanced English III B	2後	1								兼3	
	Advanced English III C	2・3前	1								兼2	
	情報リテラシー											
	情報リテラシー	1前	2					1				
	心と体の健康											
	身体活動	1前後	1									兼6
	身体活動	2前後	1									兼1
	健康の科学	1①~④	1									兼5
	科学の基礎											
	数学基礎	1①②	1									兼2
	物理学基礎	1①②	1									兼2
	化学基礎	1①②	1									兼2
	生物学基礎	1①②	1									兼1
	微積分学	1前	2									兼9
微積分学入門	1①	2									兼1	
微積分学基礎	1②	2									兼1	
力と運動	1前	2							1		兼8	
力学入門	1①	2									兼1	
力学基礎	1②	2									兼1	
科学と倫理B	2前後	2									兼2	
リベラルアーツ科目	多文化理解											
	異文化コミュニケーション											
	ドイツ語入門	1後	1								兼6	
	フランス語入門	1後	1								兼2	
	中国語入門	1後	1								兼9	
	朝鮮語入門	1後	1								兼3	
	スペイン語入門	1後	1								兼2	
	学術日本語 I	1前後	1								兼2	
	学術日本語 II A	1前後	1								兼2	
	学術日本語 II B	1前	1								兼1	
	学術日本語 II C	1後	1								兼2	
	人間とコミュニケーション	1③~③②	1								兼10	
	多文化共生	1③~③②	1								兼4	
	コミュニケーションと芸術文化	1③~③②	1								兼5	
	ヒューマニティーズ											
	思想・文学	1③~③②	1								兼9	
	歴史・考古学	1③~③②	1								兼11	
	人間科学	1③~③②	1								兼10	
	メディア文化	1③~③②	1								兼6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
リベラルアーツ科目	パフォーマンス&アート	1③~ 3②									兼1	
	スポーツ文化	1③~ 3②	1								兼1	
	音楽文化	1③~ 3②	1								兼3	
	美術文化	1③~ 3②	1								兼5	
	ダンス・演劇文化	1③~ 3②	1								兼1	
	自然と社会の広がり											
	自然・環境と人間											
	物質と生命	1③~ 3④	1			1						兼5
	技術と社会	1③~ 3④	1									兼6
	環境と人間	1③~ 3④	1			5	1	1				兼15
	グローバル化と人間社会											
	法律・政治	1③~ 3④	1									兼4
	経済・経営	1③~ 3④	1									兼5
日本国憲法	2①~ 3②	1									兼2	
公共社会	1③~ 3④	1									兼6	
グローバル・スタディーズ	1③~ 3④	1									兼4	
キャリアを考える												
ライフデザイン	3①②	1									兼8	
ライフデザイン	3①②	1									兼8	
全学共通科目	グローバル英語プログラム科目											
	Academic Writing	2③	1								兼1	
	Studies in Particular Fields	2③	1								兼1	
	Reading & Discussion	2④	1								兼1	
	Academic Speaking	2④	1								兼1	
	Presentations in English	3①	1								兼1	
	TOEIC & TOEFL	3②	1								兼1	
	English for Socializing	3③	1								兼1	
	Studying Abroad	3③	1								兼1	
	Bilingualism	3④	1								兼1	
	Studies in Contemporary Japan	3④	1								兼1	
	日本語教育プログラム科目											
	日本語教育概論	2前	2									兼1
	多文化社会と日本語教育	2前	2									兼2
	日本語教授法Ⅰ	2後	2									兼1
	日本語教授法Ⅱ	3前	2									兼1
	日本語教授法演習	3後- 4前	2									兼5
	日本語教授法演習(海外)	3後- 4前	2									兼5
	COC地域志向教育プログラム科目											
	5学部混合地域PBLⅠ	1前	2									兼1
5学部混合地域PBLⅡ	2前	2									兼1	
5学部混合地域PBLⅢ	1前	2									兼2	
5学部混合地域PBLⅣ	1前	2									兼3	
AIMSプログラム科目												
地域サステナビリティ学概論	2後	1									兼3	
環境共生論	2後	2									兼6	
環境保全型農業論	2後	2									兼6	
フィールド実践演習	2後	1									兼1	
環境実動適応・防災論	2後	2									兼3	
地域環境管理論	2後	2									兼3	
地域サステナビリティ学特別講義Ⅰ	2後	1									兼2	
地域サステナビリティ学特別講義Ⅱ	2後	1									兼2	
地域サステナビリティ学ゼミナール	3後	1									兼60	
地域サステナビリティ学ラボワーク	3後	2									兼60	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
リベラルアーツ科目	パフォーマンス&アート	1③~ 3②										兼1	
	スポーツ文化	1③~ 3②	1									兼3	
	音楽文化	1③~ 3②	1									兼5	
	美術文化	1③~ 3②	1									兼1	
	ダンス・演劇文化	1③~ 3②	1									兼1	
	自然と社会の広がり												
	自然・環境と人間												
	物質と生命	1③~ 3④	1				1						兼10
	技術と社会	1③~ 3④	1										兼14
	環境と人間	1③~ 3④	1						3				兼12
	グローバル化と人間社会												
	法律・政治	1③~ 3④	1										兼4
	経済・経営	1③~ 3④	1										兼4
日本国憲法	2①~ 3②	1										兼1	
公共社会	1③~ 3④	1						1				兼11	
グローバル・スタディーズ	1③~ 3④	1										兼4	
キャリアを考える													
ライフデザイン	3①②	1										兼3	
ライフデザイン	3①②	1										兼3	
全学共通科目	グローバル英語プログラム科目												
	Academic Writing	2③~ 3④	1									兼1	
	Studies in Particular Fields	2③~ 3④	1									兼2	
	Reading & Discussion	2③~ 3④	1									兼3	
	Academic Speaking	2③~ 3④	1									兼3	
	Presentations in English	2③~ 3④	1									兼1	
	TOEIC & TOEFL	2③~ 3④	1									兼1	
	English for Socializing	2③~ 3④	1									兼1	
	Studying Abroad	2③~ 3④	1									兼1	
	Bilingualism	2③~ 3④	1									兼1	
	Studies in Contemporary Japan	2③~ 3④	1									兼1	
	日本語教育プログラム科目												
	日本語教育概論	2前	2										兼1
	多文化社会と日本語教育	2前	2										兼2
	日本語教授法Ⅰ	2後	2									兼1	
	日本語教授法Ⅱ	3前	2									兼1	
	日本語教授法演習	3後- 4前	2									兼5	
	日本語教授法演習(海外)	3後- 4前	2									兼5	
	COC地域志向教育プログラム科目												
	5学部混合地域PBLⅠ	1前	2										兼1
5学部混合地域PBLⅡ	2前	2										兼1	
5学部混合地域PBLⅢ	1後	2										兼2	
5学部混合地域PBLⅣ	1前	2										兼3	
AIMSプログラム科目													
地域サステナビリティ学概論	2後	1										兼2	
環境共生論	2後	2										兼4	
環境保全型農業論	2後	2										兼6	
フィールド実践演習	2後	1										兼1	
環境実動適応・防災論	2後	2										兼3	
地域環境管理論	2後	2										兼3	
地域サステナビリティ学特別講義Ⅰ	2後	1										兼1	
地域サステナビリティ学特別講義Ⅱ	2後	1										兼3	
地域サステナビリティ学ゼミナール	3後	1										兼57	
地域サステナビリティ学ラボワーク	3後	2										兼57	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
学部共通専門基礎教育科目	線形代数Ⅰ	1前	2							兼1
	多変数の微積分学	1後	2							兼1
	常微分方程式	2前	2							兼1
	化学概論	1前	1			1				
	電磁気学概論	1後	1							兼1
	情報スキル	1後	1							兼1
	プログラミング演習Ⅰ	2前	2				1			
	工学実用英語	3後	1							兼6
	学科共通専門基礎教育科目	材料科学入門	1前	2			1			
基礎化学Ⅰ		1前	1※			1				
物理学入門		1前		2		1				
生物学入門		1前		2		1				兼1
基礎化学Ⅱ		1前		1		1				
ベクトル解析		1後		1		1				
基礎電磁気学		1後		1		1				
力学		1後		2						兼1
線形代数Ⅱ		1後		2						兼1
基礎物理化学		2前		2		1	1			
分析化学		2前		2			1			
基礎有機化学Ⅰ		2前		1				1		
生体分子化学		2前		1		1				
固体物性Ⅰ		2前		2		1				
物質科学基礎実験Ⅰ		2前		2		3	4	1		兼4
材料力学		2前		2						兼1
電磁気学		2前		2		1				
数理統計		2前		2						兼1
ものづくり課題解決型実習		2前		2		1				
物理化学		2後		1		1				
量子化学		2後		1			1			
結晶塑性学Ⅰ		2後		1		1				
材料組織学Ⅰ		2後		1		1				
基礎無機化学		2後		2			1			
基礎有機化学Ⅱ		2後		1				1		
基礎分子生物学		2後		1		1				
物質科学基礎実験Ⅱ		2後		2		4	2	2		兼3
固体物性Ⅱ	2後		2		1					
材料物理化学Ⅰ	2後		2		1					
計算材料学	2後		2		1					
基礎有機化学Ⅲ	2後		1			1				
高分子材料学	2後		2						兼1	
生化学	2後		2		1					
フーリエ解析	2後		2						兼1	
職業指導	2後			2					兼1	
プログラム横断科目	放射線科学	3前	2							兼4
	材料加工学Ⅰ	3前	1							兼1
	材料加工学Ⅱ	3前	1							兼1
	機器分析化学Ⅰ	3前	1			1	1			
	機器分析化学Ⅱ	3前	1			2				
	分子生物学Ⅰ	3前	1							兼1
	分子生物学Ⅱ	3前	1			1				
	結晶塑性学Ⅱ	3前		1						兼1
	結晶塑性学Ⅲ	3前		1						兼1
	材料物理化学Ⅱ	3前		1			1			
	材料組織学Ⅱ	3前		1		1				
	材料組織学Ⅲ	3前		1		1				
	固体量子論Ⅰ	3前		1						兼1
	固体量子論Ⅱ	3前		1						兼1
	電気化学	3前		1			1			
	流体・伝熱工学	3前		1		1				
	高分子化学Ⅰ	3前		1		1				
	高分子化学Ⅱ	3前		1		1				
有機化学Ⅰ	3前		1		1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
学部共通専門基礎教育科目	線形代数Ⅰ	1前	2							兼1
	多変数の微積分学	1後	2							兼1
	常微分方程式	2前	2							兼1
	化学概論	1前	1				1			
	電磁気学概論	1後	1							兼1
	情報スキル	1後	1							兼1
	プログラミング演習Ⅰ	2前	2					1		
	工学実用英語	3後	1							兼6
	学科共通専門基礎教育科目	材料科学入門	1前	2			1			
基礎化学Ⅰ		1前	1※			1				
物理学入門		1前		2		1				
生物学入門		1前		2		1		1		
基礎化学Ⅱ		1前		1		1				
ベクトル解析		1後		1		1				
基礎電磁気学		1後		1		1				
力学		1後		2						兼1
線形代数Ⅱ		1後		2						兼1
基礎物理化学		2前		2		1	1			
分析化学		2前		2			1			
基礎有機化学Ⅰ		2前		1				1		
生体分子化学		2前		1		1				
固体物性Ⅰ		2前		2		1				
物質科学基礎実験Ⅰ		2前		2		3	4	1		兼4
材料力学		2前		2						兼1
電磁気学		2前		2		1				
数理統計		2前		2						兼1
ものづくり課題解決型実習		2前		2		1				
物理化学		2後		1		1				
量子化学		2後		1			1			
結晶塑性学Ⅰ		2後		1		1				
材料組織学Ⅰ		2後		1		1				
基礎無機化学		2後		2			1			
基礎有機化学Ⅱ		2後		1				1		
基礎分子生物学		2後		1		1				
物質科学基礎実験Ⅱ		2後		2		4	2	2		兼3
固体物性Ⅱ	2後		2		1					
材料物理化学Ⅰ	2後		2		1					
計算材料学	2後		2		1					
基礎有機化学Ⅲ	2後		1			1				
高分子材料学	2後		2						兼1	
生化学	2後		2		1					
フーリエ解析	2後		2						兼1	
職業指導	2後			2					兼1	
プログラム横断科目	放射線科学	3前	2							兼4
	材料加工学Ⅰ	3前	1							兼1
	材料加工学Ⅱ	3前	1							兼1
	機器分析化学Ⅰ	3前	1				1	1		
	機器分析化学Ⅱ	3前	1				2			
	分子生物学Ⅰ	3前	1							兼1
	分子生物学Ⅱ	3前	1			1				
	結晶塑性学Ⅱ	3前		1						兼1
	結晶塑性学Ⅲ	3前		1						兼1
	材料物理化学Ⅱ	3前		1				1		
	材料組織学Ⅱ	3前		1		1				
	材料組織学Ⅲ	3前		1		1				
	固体量子論Ⅰ	3前		1						兼1
	固体量子論Ⅱ	3前		1						兼1
	電気化学	3前		1			1			
	流体・伝熱工学	3前		1		1				
	高分子化学Ⅰ	3前		1			1			
	高分子化学Ⅱ	3前		1			1			
有機化学Ⅰ	3前		1			1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
プログラム横断科目	有機化学Ⅱ	3前	1			1						
	材料組織学Ⅳ	3後	1		1							兼1
	結晶解析学Ⅰ	3後	1									兼1
	応用計算材料学Ⅰ	3後	1									兼1
	応用計算材料学Ⅱ	3後	1									兼1
	界面化学	3後	1			1						
	表面科学	3後	1		1							
	分離工学	3後	1		1							
	反応工学	3後	1		1							
	有機化学Ⅲ	3後	1			1						
	有機工業化学	3後	1			1						
	構造生物学Ⅰ	3後	1									兼1
	構造生物学Ⅱ	3後	1		1							
	細胞生物学	3後	1			1						
	バイオテクノロジー	3後	1		1							
	生命情報学Ⅰ	3後	1			1						
	生命情報学Ⅱ	3後	1									兼1
物質科学エッセイ	3後	2			1							
物質科学ゼミナールⅠ	4前	1			9	8	3	2				兼8
物質科学ゼミナールⅡ	4後	1			9	8	3	2				兼8
材料工学プログラム	材料組織演習	3前	1			1						
	マテリアルデザイン	3前	3			1						
	材料強度学	3後	1			1						
	結晶解析学Ⅱ	3後	1									兼1
	強度学・物性演習	3後	1		2							兼1
材料工学実験	3後	3		2	2							兼1
応用化学プログラム	応用化学演習Ⅰ	3前	1		3	1						
	応用化学実験Ⅰ	3前	3		2	3	1					
	無機化学	3前	1			1						
	化学工学基礎	3前	1		1							
	応用化学演習Ⅱ	3後	1			3	1					
応用化学実験Ⅱ	3後	3		2	3							兼1
生命工学プログラム	生命工学演習	3前	1		1							
	生命工学実験Ⅰ	3前	3		2	1						兼2
	代謝化学Ⅰ	3前	1									兼1
	代謝化学Ⅱ	3前	1									兼1
	生命情報演習	3後	1			1						
生命工学実験Ⅱ	3後	3		2	1						兼2	
卒業研究	4通	8			9	8	3	2				兼8
学部共通科目	工業日本語ゼミナールⅠ	2-3-4前	2									兼1
	工業日本語ゼミナールⅡ	2-3-4後	2									兼1
	日本語情報処理Ⅰ	2-3-4前	2									兼1
	日本語情報処理Ⅱ	2-3-4後	2									兼1
	工業日本語Ⅰ	2-3-4前	2									兼1
	工業日本語Ⅱ	2-3-4後	2									兼1
	工業日本語演習Ⅰ	2-3-4前	1									兼1
	工業日本語演習Ⅱ	2-3-4後	1									兼1
	工学概論	2-3-4前	2				1					兼10
	知的財産法	2-3-4後	1									兼1
	原子力工学概論	2-3-4後	2									兼10
工学地域PBL実習	2-3-4通	2									兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
プログラム横断科目	有機化学Ⅱ	3前	1			1						
	材料組織学Ⅳ	3後	1			1						兼1
	結晶解析学Ⅰ	3後	1									兼1
	応用計算材料学Ⅰ	3後	1									兼1
	応用計算材料学Ⅱ	3後	1									兼1
	界面化学	3後	1			1						
	表面科学	3後	1		1							
	分離工学	3後	1		1							
	反応工学	3後	1		1							
	有機化学Ⅲ	3後	1			1						
	有機工業化学	3後	1			1						
	構造生物学Ⅰ	3後	1									兼1
	構造生物学Ⅱ	3後	1		1							
	細胞生物学	3後	1			1						
	バイオテクノロジー	3後	1		1							
	生命情報学Ⅰ	3後	1			1						
	生命情報学Ⅱ	3後	1									兼1
物質科学エッセイ	3後	2			1							
物質科学ゼミナールⅠ	4前	1			13	8	3	2				兼8
物質科学ゼミナールⅡ	4後	1			13	8	3	2				兼8
材料工学プログラム	材料組織演習	3前	1			1						
	マテリアルデザイン	3前	3			1						
	材料強度学	3後	1			1						
	結晶解析学Ⅱ	3後	1									兼1
	強度学・物性演習	3後	1		2							兼1
材料工学実験	3後	3		2	2							兼1
応用化学プログラム	応用化学演習Ⅰ	3前	1		3	1						
	応用化学実験Ⅰ	3前	3		2	3	1					
	無機化学	3前	1			1						
	化学工学基礎	3前	1		1							
	応用化学演習Ⅱ	3後	1			1	2	1				
応用化学実験Ⅱ	3後	3		2	3							兼1
生命工学プログラム	生命工学演習	3前	1		1							
	生命工学実験Ⅰ	3前	3		2	1						兼2
	代謝化学Ⅰ	3前	1									兼1
	代謝化学Ⅱ	3前	1									兼1
	生命情報演習	3後	1			1						
生命工学実験Ⅱ	3後	3		2	1						兼2	
卒業研究	4通	8			13	8	3	2				兼8
学部共通科目	工業日本語ゼミナールⅠ	2-3-4前	2									兼1
	工業日本語ゼミナールⅡ	2-3-4後	2									兼1
	日本語情報処理Ⅰ	2-3-4前	2									兼1
	日本語情報処理Ⅱ	2-3-4後	2									兼1
	工業日本語Ⅰ	2-3-4前	2									兼1
	工業日本語Ⅱ	2-3-4後	2									兼1
	工業日本語演習Ⅰ	2-3-4前	1									兼1
	工業日本語演習Ⅱ	2-3-4後	1									兼1
	工学概論	2-3-4前	2				1					兼11
	知的財産法	2-3-4後	1									兼1
	原子力工学概論	2-3-4後	2									兼10
工学地域PBL実習	2-3-4通	2									兼1	

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・担当教員見直しのため、「大学入門ゼミ」の専任教員等の配置を「准教授1、兼1」から「准教授1、講師1」に変更。 ・担当教員見直しのため、「茨城学」の専任教員等の配置を「准教授1、兼12」から「准教授1、兼8」に変更。 ・担当教員見直しのため、「Integrated English IA」「Integrated English IB」の兼任・兼担を「兼5」から「兼4」に変更。 ・担当教員見直しのため、「Integrated English II A」「Integrated English II B」の兼任・兼担を「兼11」から「兼15」に変更。 ・担当教員見直しのため、「Integrated English III A」の兼任・兼担を「兼1」から「兼3」に変更。 ・担当教員見直しのため、「Integrated English III B」の兼任・兼担を「兼2」から「兼4」に変更。 ・担当教員見直しのため、「Advanced English IA」「Advanced English IB」の兼任・兼担を「兼1」から「兼2」に変更。 ・担当教員見直しのため、「Advanced English II A」「Advanced English II B」の兼任・兼担を「兼4」から「兼3」に変更。 ・担当教員見直しのため、「Advanced English III A」の兼任・兼担を「兼5」から「兼3」に変更。 ・担当教員見直しのため、「Advanced English III B」の兼任・兼担を「兼1」から「兼3」に変更。 ・担当教員見直しのため、「情報リテラシー」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、講師2」から「講師1」に変更。 ・担当教員見直しのため、「身体活動（必修）」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼6」に変更。 ・担当教員見直しのため、「身体活動（選択）」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。 ・担当教員見直しのため、「健康の科学」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼5」に変更。 ・担当教員見直しのため、「物理学基礎」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更。 ・担当教員見直しのため、「化学基礎」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。 ・担当教員見直しのため、「微積分学」の専任教員等の配置を「教授1、兼2」から「教授0、兼9」に変更。 ・担当教員見直しのため、「微積分学入門」「微積分学基礎」「力学入門」「力学基礎」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。 ・担当教員見直しのため、「力と運動」の専任教員等の配置を「兼3」から「准教授1、兼8」に変更。 ・担当教員見直しのため、「ドイツ語入門」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼6」に変更。 ・担当教員見直しのため、「中国語入門」の専任教員等の配置を「兼8」から「兼9」に変更。 ・担当教員見直しのため、「朝鮮語入門」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。 ・担当教員見直しのため、「学術日本語II C」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。 ・担当教員見直しのため、「人間とコミュニケーション」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼10」に変更。 ・担当教員見直しのため、「多文化共生」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。 ・担当教員見直しのため、「コミュニケーションと芸術文化」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼5」に変更。 ・担当教員見直しのため、「思想・文学」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼9」に変更。 ・担当教員見直しのため、「歴史・考古学」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼11」に変更。 ・担当教員見直しのため、「人間科学」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼10」に変更。 ・担当教員見直しのため、「メディア文化」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼6」に変更。 ・担当教員見直しのため、「音楽文化」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。 ・担当教員見直しのため、「美術文化」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼5」に変更。 ・担当教員見直しのため、「物質と生命」の専任教員等の配置を「准教授1、兼5」から「准教授1、兼10」に変更。 ・担当教員見直しのため、「技術と社会」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼14」に変更。 ・担当教員見直しのため、「環境と人間」の専任教員等の配置を「教授5、准教授1、講師1、兼15」から「教授3、兼12」に変更。 ・担当教員見直しのため、「経済・経営」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼4」に変更。 ・担当教員見直しのため、「日本国憲法」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。 ・担当教員見直しのため、「公共社会」の専任教員等の配置を「兼6」から「教授1、兼11」に変更。 ・担当教員見直しのため、「グローバル・スタディーズ」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼5」に変更。 ・担当教員見直しのため、「ライフデザイン」の専任教員等の配置を「兼8」から「兼3」に変更。 ・時間割見直しのため、「グローバル英語プログラム科目」の配当年次を「2③④」から「2③～3④」に変更。 ・担当教員見直しのため、「Academic Writing」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。 ・担当教員見直しのため、「Studies in Particular Fields」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。 ・担当教員見直しのため、「Reading & Discussion」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。 ・担当教員見直しのため、「Academic Speaking」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。 ・担当教員見直しのため、「多文化社会と日本語教育」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。 ・時間割見直しのため、「5学部混合地域PBL III」の配当年次を「前」から「後」に変更。 ・担当教員見直しのため、「5学部混合地域PBL III」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。 ・教育内容の充実のため、「5学部混合地域PBL IV」を追加。 ・担当教員見直しのため、「地域サステナビリティ学概論」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更。 ・担当教員見直しのため、「環境共生論」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼4」に変更。 ・担当教員見直しのため、「地域サステナビリティ学特別講義Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。 ・担当教員見直しのため、「地域サステナビリティ学特別講義Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。 ・担当教員見直しのため、「地域サステナビリティ学ゼミナール」の専任教員等の配置を「兼60」から「兼57」に変更。 ・担当教員見直しのため、「地域サステナビリティ学ラボワーク」の専任教員等の配置を「兼60」から「兼57」に変更。 ・昇進のため、「化学概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。 ・昇進のため、「基礎化学Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。 ・担当教員見直しのため、「生物学入門」の兼任・兼担を「兼1」から「兼0」に変更。 ・昇進のため、「基礎化学Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。 ・昇進のため、「分析化学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。 ・昇進のため、「電気化学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。 ・昇進及び担当教員見直しのため、「物質科学ゼミナールⅠ」の専任教員等の配置を「教授9、准教授8、講師3、助教2」から「教授13、准教授8、講師3、助教2」に変更。 ・昇進及び担当教員見直しのため、「物質科学ゼミナールⅡ」の専任教員等の配置を「教授9、准教授8、講師3、助教2」から「教授13、准教授8、講師3、助教2」に変更。 ・昇進のため、「応用化学演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授3、講師1」から「教授1、准教授2、講師1」に変更。 ・昇進のため、「応用化学実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授3」から「教授3、准教授2」に変更。 ・昇進及び担当教員見直しのため、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授9、准教授8、講師3、助教2」から「教授13、准教授8、講師3、助教2」に変更。 ・担当教員見直しのため、「工学概論」の兼任・兼担を「兼10」から「兼11」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡潔書きで記入してください。
 ・ 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
40 科目	160 科目	1 科目	201 科目	40 科目	161 科目	1 科目	202 科目	
				[]	[1]	[]	[1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{201} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	369,215㎡	㎡	㎡	369,215㎡			
	運動場用地	114,255㎡	㎡	㎡	114,255㎡			
	小 計	483,470㎡	㎡	㎡	483,470㎡			
	そ の 他	315,124㎡	㎡	㎡	315,124㎡			
	合 計	798,594㎡	㎡	㎡	798,594㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		147,665㎡ (147,665㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	147,665㎡ (147,665㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		27室	3室	130室	0室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		工学部 物質科学工学科			26 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数
	工学部 物質科学工学科	1,008,826 (282,013) (1,008,826 [282,013])	16,462 [4,704] (16,462 [4,704])	2,430 [2,429] (2,430 [2,429])	3,123 (3,123)	— ()	— ()	
	計	1,008,826 (282,013) (1,008,826 [282,013])	16,462 [4,704] (16,462 [4,704])	2,430 [2,429] (2,430 [2,429])	3,123 (3,123)	— ()	— ()	
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		11,986㎡		997	958,000		大学全体	
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		3,160㎡		テニスコート7面		プール (25m×15m) 1基	大学全体	
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	茨城大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文社会科学部									
現代社会学科	4	130	—	520	学士 (現代社会学)	1.03	平成29年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
法律経済学科	4	120	—	480	学士 (社会科学)	1.03	平成29年度	同上	
人間文化学科	4	110	—	440	学士 (人文科学)	1.05	平成29年度	同上	
人文学部									
人文コミュニケーション学科	4	—	—	—	学士 (人文科学)	—	平成18年度	同上	平成29年度より学生募集停止
社会科学科	4	—	—	—	学士 (社会科学)	—	昭和50年度	同上	平成29年度より学生募集停止
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	240	—	960	学士 (教育学)	1.05	平成8年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
養護教諭養成課程	4	35	—	140	学士 (教育学)	1.03	昭和50年度	同上	
情報文化課程	4	—	—	—	学士 (教養)	—	平成元年度	同上	平成29年度より学生募集停止
人間環境教育課程	4	—	—	—	学士 (教養)	—	平成11年度	同上	平成29年度より学生募集停止
理学部									
理学科	4	205	4	828	学士 (理学)	1.05	平成17年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
工学部									
機械システム工学科	4	130	6	532	学士 (工学)	1.06	平成30年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	
機械システム工学科(夜)	4	40	—	160	学士 (工学)	1.02	平成30年度	同上	
電気電子システム工学科	4	125	5	510	学士 (工学)	1.01	平成30年度	同上	
物質科学工学科	4	110	3	446	学士 (工学)	1.00	平成30年度	同上	
情報工学科	4	80	4	328	学士 (工学)	1.02	平成30年度	同上	
都市システム工学科	4	60	2	244	学士 (工学)	1.03	平成30年度	同上	
機械工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成2年度	同上	平成30年度より学生募集停止
生体分子機能工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17年度	同上	平成30年度より学生募集停止
マテリアル工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17年度	同上	平成30年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成2年度	同上	平成30年度より学生募集停止
メディア通信工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成8年度	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17年度	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学科(B)	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17年度	同上	平成30年度より学生募集停止
農学部									
食生命科学科	4	80	5	330	学士 (農学)	1.04	平成29年度	茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1	

地域総合農学科	4	80	5	330	学士 (農学)	1.06	平成29年度	同上	
生物生産科学科	4	—	—	—	学士 (農学)	—	平成12年度	同上	平成29年度より学生募集停止
資源生物科学科	4	—	—	—	学士 (農学)	—	昭和62年度	同上	平成29年度より学生募集停止
地域環境科学科	4	—	—	—	学士 (農学)	—	平成12年度	同上	平成29年度より学生募集停止
人文社会科学研究科									
文化科学専攻	2	13	—	26	修士 (学術)	0.88	平成21年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
社会科学専攻	2	12	—	24	修士 (学術)	1.41	平成26年度	同上	
地域政策専攻	2	—	—	—	修士 (学術)	—	平成6年度	同上	平成26年度より学生募集停止
教育学研究科									
障害児教育専攻	2	3	—	6	修士 (教育学)	1.16	昭和63年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
教科教育専攻	2	22	—	44	修士 (教育学)	1.20	昭和63年度	同上	
養護教育専攻	2	3	—	6	修士 (教育学)	0.83	平成9年度	同上	
学校臨床心理専攻	2	9	—	18	修士 (教育学)	1.16	平成13年度	同上	
教育実践高度化専攻	2	15	—	30	教職修士 (専門職)	1.03	平成28年度	同上	
理工学研究科									
(博士前期課程)									
量子線科学専攻	2	102	—	204	修士(理学) 修士(工学)	0.91	平成28年度	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
理学専攻	2	45	—	90	修士 (理学)	1.21	平成21年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
機械システム工学専攻	2	86	—	172	修士 (工学)	1.36	平成30年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	
電気電子システム工学専攻	2	58	—	116	修士 (工学)	1.05	平成30年度	同上	
情報工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	1.40	平成30年度	同上	
都市システム工学専攻	2	27	—	54	修士 (工学)	1.03	平成30年度	同上	
機械工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成7年度	同上	平成30年度より学生募集停止
電気電子工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成7年度	同上	平成30年度より学生募集停止
IT通信工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成12年度	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成21年度	同上	平成30年度より学生募集停止
応用粒子線科学専攻	2	—	—	—	修士(理学) 修士(工学)	—	平成16年度	同上	平成28年度より学生募集停止
(博士後期課程)									
量子線科学専攻	3	20	—	60	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.60	平成28年度	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
複雑系システム科学専攻	3	10	—	30	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.90	平成28年度	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
社会システム科学専攻	3	8	—	24	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.62	平成28年度	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
物質科学専攻	3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	平成7年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
生産科学専攻	3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	平成7年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
情報・システム科学専攻	3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	平成7年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
宇宙地球システム科学専攻	3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	平成7年度	茨城県水戸市文京2-1-1	平成28年度より学生募集停止

環境機能科学専攻	3	—	—	—	博士（理学） 博士（工学） 博士（学術）	—	平成8年度	茨城県水戸市文京2-1-1	平成28年度より学生募集停止
応用粒子線科学専攻	3	—	—	—	博士（理学） 博士（工学） 博士（学術）	—	平成16年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
農学研究科									
農学専攻	2	48	—	96	修士 （農学）	0.77	平成29年度	茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1	
生物生産科学専攻	2	—	—	—	修士 （農学）	—	平成16年度	同上	平成29年度より学生募集停止
資源生物科学専攻	2	—	—	—	修士 （農学）	—	平成3年度	同上	平成29年度より学生募集停止
地域環境科学専攻	2	—	—	—	修士 （農学）	—	平成16年度	同上	平成29年度より学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（A C対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・A C対象学部等については，必ず記入するとともに，下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
9	8	3	2	22	13	8	3	2	26	10	7	3	2	22
(13)	(8)	(3)	(2)	(26)						[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{22}{22} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{26} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由 **該当なし**

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授		必修				
			選択				
			必修				
2	准教授		自由				
			必修				
			必修				
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授		必修				
			選択				
			必修				
2	准教授		自由				
			必修				
			必修				
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{22} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
			必修	選択							
1	教授		必修								
			選択								
			必修								
2	准教授		自由								
			必修								
			必修								
合計			後任補充状況の集計								
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
0	人		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 **該当なし**

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等 該当なし

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)		留意事項	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・大学設置基準に抵触 するため、改めるこ と。(△△学部△△学 科)	是正意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・〇〇学部〇〇学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(◆◆学 科、●●学科)の～す ること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)	・〇〇学部〇〇学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(◆◆学 科、●●学科)の～す ること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・××学部××学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(□□学 科、■ ■学科)の～す ること。	改善意見	履行済

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<工学部 物質科学工学科>

(1) 設置計画変更事項等 該当なし

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 A. 教育改善委員会 B. ②産学協同カリキュラム改良委員会 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) A. 学期始めを中心に、年6回程度開催 B. 年1回～2回程度開催 c 委員会の審議事項等 A. -1 授業アンケート及び学科教育点検に関すること -2 FD及び推奨授業に関すること -3 JABEEに関すること B. カリキュラム及び授業に関すること ② 実施状況 a 実施内容 A. 第1回(H29.4.27 出席者9名) 授業アンケートについて、推奨授業について 他 第2回(H29.5.22 出席者11名) 授業アンケートについて、学科教育点検について、JABEEについて 他 第3回(H29.9.13 出席者10名) 推奨授業について、学科教育点検について、JABEEについて 他 第4回(H29.10.17 出席者11名) 推奨授業について、学科教育点検について、FD研修会について 他 第5回(H29.11.17 出席者9名) 授業アンケートについて、推奨授業について、JABEEについて 他 第6回(H29.12.22 出席者9名) 授業アンケートについて、学科教育点検について、FD研修会について 他 第7回(H30.2.14 出席者10名) FD研修会について、H30活動計画について 他 ・FD研修会の実施(H29.12.13 出席者119名) B. 第1回(H29.12.15 出席者16名) 学部及び大学院の授業について b 実施方法 上記のとおり c 開催状況(教員の参加状況含む) 上記のとおり d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 上記A及びBの審議を踏まえ、学科長から所属各教員に改善内容を周知し、それぞれが改善に取り組んでいる。
--

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各学期の講義最終回にアンケートを実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

結果を担当教員に周知するほか、学科内で共有を図っている。

学生に対して公表はしていない。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

計画どおり実施している。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って計画どおり教育研究活動を実施する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成30年7月30日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定(平成30年7月末を予定)

③ 認証評価を受ける計画

・平成34年度に評価機関(大学改革支援・学位授与機構)の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表(予定)の有無 (有) ・ 無)

b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (平成30年 9月 1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

注3

大学番号：015

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

事前伺い

茨城大学 工学部 情報工学科

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人茨城大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部総務課

職名・氏名 課長補佐（法規担当）
ハセガワ シンゴ
長谷川 慎吾

電話番号 029-228-8009

（夜間） 029-228-8035

F A X 029-228-8019

e-mail iba-houki@ml.ibaraki.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学部

<情報工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	15
6. 留意事項等に対する履行状況等	41
7. その他全般的事項	43

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人茨城大学

(2) 大学名

茨城大学

(3) 大学の位置

〒316-8511
茨城県日立市中成沢町4-12-1

[〒310-8512
茨城県水戸市文京2-1-1]

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ミムラ ノブオ) 三村 信男 (平成26年9月)		
学部長	(マスザワ トオル) 増澤 徹 (平成30年4月)		
学科長等	(シンノウ ヒロユキ) 新納 浩幸 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 情報工学科 学士(工学)	工学関係	4年	80人	3年次 4	328人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80人 (-) [若干名]	人	人	人	人	人	人	人	1.02倍	
志願者数	332 (-) [27]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	220 (-) [21]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	105 (-) [3]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	82 (-) [2]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.02									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	82 [2] (-)	[] ()							
2年次	/		[] ()						
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	82 [2] (-)	[] ()							

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	82人	0人	平成30年度	人	人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合計	82人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{82} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学部 情報工学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
入門科目	大学入門ゼミ	1前	2			1	1	2				兼13	
	茨城学	1②③	2										
共通基礎科目	ブラクティカル・イングリッシュ(PE)												
	Integrated English I A	1前		2								兼5	
	Integrated English II A	1前		2								兼11	
	Integrated English III A	1前		2								兼1	
	Integrated English I B	1後		1								兼5	
	Integrated English II B	1後		1								兼11	
	Integrated English III B	1後		1								兼2	
	Advanced English I A	2前		1								兼1	
	Advanced English I B	2後		1								兼1	
	Advanced English II A	2・3前		1								兼4	
	Advanced English II B	2後		1								兼4	
	Advanced English III A	2・3前		1								兼5	
	Advanced English III B	2後		1								兼1	
	Advanced English III C	2・3前		1								兼2	
	情報リテラシー												
	情報リテラシー	1前	2			1							兼1
	心と体の健康												
	身体活動	1前後	1										兼3
	身体活動	2前後	1										兼4
	健康の科学	1①~④	1										兼2
	科学の基礎												
	数学基礎	1①②	1										兼2
	物理学基礎	1①②	1										兼3
	化学基礎	1①②	1										兼2
	生物学基礎	1①②	1										兼1
	微積分学	1前	2			1							兼1
	微積分学入門	1①	2										兼2
	微積分学基礎	1②	2										兼2
	力と運動	1前	2										兼2
	力学入門	1①	2										兼2
力学基礎	1②	2										兼2	
科学と倫理B	2前後	2										兼2	
リベラルアーツ科目	多文化理解												
	異文化コミュニケーション												
	ドイツ語入門	1後	1									兼3	
	フランス語入門	1後	1									兼2	
	中国語入門	1後	1									兼8	
	朝鮮語入門	1後	1									兼2	
	スペイン語入門	1後	1									兼2	
	学術日本語 I	1前後	1									兼2	
	学術日本語 II A	1前後・2前	1									兼2	
	学術日本語 II B	1前	1									兼1	
	学術日本語 II C	1後	1									兼1	
	人間とコミュニケーション	1③~③②	1									兼6	
	多文化共生	1③~③②	1									兼1	
	コミュニケーションと芸術文化	1③~③②	1									兼4	
	ヒューマニティーズ												
	思想・文学	1③~③②	1									兼3	
	歴史・考古学	1③~③②	1									兼6	
	人間科学	1③~③②	1									兼5	
メディア文化	1③~③②	1									兼2		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
入門科目	大学入門ゼミ	1前	2			1	1	1	2			兼8	
	茨城学	1②③	2										
共通基礎科目	ブラクティカル・イングリッシュ(PE)												
	Integrated English I A	1前		2								兼4	
	Integrated English II A	1前		2								兼15	
	Integrated English III A	1前		2								兼3	
	Integrated English I B	1後		1								兼4	
	Integrated English II B	1後		1								兼15	
	Integrated English III B	1後		1								兼4	
	Advanced English I A	2前		1								兼2	
	Advanced English I B	2後		1								兼2	
	Advanced English II A	2・3前		1								兼4	
	Advanced English II B	2後		1								兼3	
	Advanced English III A	2・3前		1								兼3	
	Advanced English III B	2後		1								兼3	
	Advanced English III C	2・3前		1								兼1	
	情報リテラシー												
	情報リテラシー	1前	2				1						兼1
	心と体の健康												
	身体活動	1前後	1										兼6
	身体活動	2前後	1										兼1
	健康の科学	1①~④	1										兼5
	科学の基礎												
	数学基礎	1①②	1										兼2
	物理学基礎	1①②	1										兼2
	化学基礎	1①②	1										兼2
	生物学基礎	1①②	1										兼1
	微積分学	1前	2					1					兼8
	微積分学入門	1①	2										兼1
	微積分学基礎	1②	2										兼1
	力と運動	1前	2										兼9
	力学入門	1①	2										兼1
力学基礎	1②	2										兼1	
科学と倫理B	2前後	2										兼2	
リベラルアーツ科目	多文化理解												
	異文化コミュニケーション												
	ドイツ語入門	1後	1									兼6	
	フランス語入門	1後	1									兼2	
	中国語入門	1後	1									兼9	
	朝鮮語入門	1後	1									兼3	
	スペイン語入門	1後	1									兼2	
	学術日本語 I	1前後	1									兼2	
	学術日本語 II A	1前後・2前	1									兼2	
	学術日本語 II B	1前	1									兼1	
	学術日本語 II C	1後	1									兼2	
	人間とコミュニケーション	1③~③②	1									兼10	
	多文化共生	1③~③②	1									兼4	
	コミュニケーションと芸術文化	1③~③②	1									兼5	
	ヒューマニティーズ												
	思想・文学	1③~③②	1									兼9	
	歴史・考古学	1③~③②	1									兼11	
	人間科学	1③~③②	1									兼10	
メディア文化	1③~③②	1									兼6		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
リベラルアーツ科目	パフォーマンス&アート												
	スポーツ文化	1③~ 3②	1									兼1	
	音楽文化	1③~ 3②	1									兼1	
	美術文化	1③~ 3②	1									兼3	
	ダンス・演劇文化	1③~ 3②	1									兼1	
	自然と社会の広がり												
	自然・環境と人間												
	物質と生命	1③~ 3④	1									兼6	
	技術と社会	1③~ 3④	1			2						兼4	
	環境と人間	1③~ 3④	1									兼22	
	グローバル化と人間社会												
	法律・政治	1③~ 3④	1									兼4	
	経済・経営	1③~ 3④	1									兼5	
	日本国憲法	2①~ 3②	1									兼2	
	公共社会	1③~ 3④	1									兼6	
	グローバル・スタディーズ	1③~ 3④	1									兼4	
キャリアを考える													
ライフデザイン													
ライフデザイン	3①②	1										兼8	
全学共通科目	グローバル英語プログラム科目												
	Academic Writing	2③	1									兼1	
	Studies in Particular Fields	2③	1									兼1	
	Reading & Discussion	2④	1									兼1	
	Academic Speaking	2④	1									兼1	
	Presentations in English	3①	1									兼1	
	TOEIC & TOEFL	3②	1									兼1	
	English for Socializing	3③	1									兼1	
	Studying Abroad	3③	1									兼1	
	Bilingualism	3④	1									兼1	
	Studies in Contemporary Japan	3④	1									兼1	
	日本語教育プログラム科目												
	日本語教育概論	2前	2										兼1
	多文化社会と日本語教育	2前	2										兼1
	日本語教授法 I	2後	2										兼1
	日本語教授法 II	3前	2										兼1
	日本語教授法演習	3後・ 4前	2										兼5
	日本語教授法演習(海外)	3後・ 4前	2										兼5
	COC地域志向教育プログラム科目												
	5学部混合地域PBL I	1前	2										兼1
	5学部混合地域PBL II	2前	2										兼1
	5学部混合地域PBL III	1前	2										兼1
	AIMSプログラム科目												
	地域サステナビリティ学概論	2後	1										兼3
	環境共生論	2後	2										兼6
	環境保全型農業論	2後	2										兼6
	フィールド実践演習	2後	1										兼1
	環境変動適応・防災論	2後	2										兼3
	地域環境管理論	2後	2										兼3
	地域サステナビリティ学特別講義 I	2後	1										兼2
	地域サステナビリティ学特別講義 II	2後	1										兼2
	地域サステナビリティ学セミナー	3後	1										兼60
	地域サステナビリティ学ラボワーク	3後	2										兼60

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
リベラルアーツ科目	パフォーマンス&アート												
	スポーツ文化	1③~ 3②	1									兼1	
	音楽文化	1③~ 3②	1									兼3	
	美術文化	1③~ 3②	1									兼5	
	ダンス・演劇文化	1③~ 3②	1									兼1	
	自然と社会の広がり												
	自然・環境と人間												
	物質と生命	1③~ 3④	1									兼11	
	技術と社会	1③~ 3④	1					1		1		兼13	
	環境と人間	1③~ 3④	1									兼15	
	グローバル化と人間社会												
	法律・政治	1③~ 3④	1									兼4	
	経済・経営	1③~ 3④	1									兼4	
	日本国憲法	2①~ 3②	1									兼1	
	公共社会	1③~ 3④	1									兼12	
	グローバル・スタディーズ	1③~ 3④	1									兼4	
キャリアを考える													
ライフデザイン													
ライフデザイン	3①②	1										兼3	
全学共通科目	グローバル英語プログラム科目												
	Academic Writing	2③~ 3④	1									兼1	
	Studies in Particular Fields	2③~ 3④	1									兼2	
	Reading & Discussion	2③~ 3④	1									兼3	
	Academic Speaking	2③~ 3④	1									兼3	
	Presentations in English	2③~ 3④	1									兼1	
	TOEIC & TOEFL	2③~ 3④	1									兼1	
	English for Socializing	2③~ 3④	1									兼1	
	Studying Abroad	2③~ 3④	1									兼1	
	Bilingualism	2③~ 3④	1									兼1	
	Studies in Contemporary Japan	2③~ 3④	1									兼1	
	日本語教育プログラム科目												
	日本語教育概論	2前	2										兼1
	多文化社会と日本語教育	2前	2										兼2
	日本語教授法 I	2後	2										兼1
	日本語教授法 II	3前	2										兼1
	日本語教授法演習	3後・ 4前	2										兼5
	日本語教授法演習(海外)	3後・ 4前	2										兼5
	COC地域志向教育プログラム科目												
	5学部混合地域PBL I	1前	2										兼1
	5学部混合地域PBL II	2前	2										兼1
	5学部混合地域PBL III	1後	2										兼2
	5学部混合地域PBL IV	1前	2										兼3
	AIMSプログラム科目												
	地域サステナビリティ学概論	2後	1										兼2
	環境共生論	2後	2										兼4
	環境保全型農業論	2後	2										兼6
	フィールド実践演習	2後	1										兼1
	環境変動適応・防災論	2後	2										兼3
	地域環境管理論	2後	2										兼3
	地域サステナビリティ学特別講義 I	2後	1										兼1
	地域サステナビリティ学特別講義 II	2後	1										兼3
	地域サステナビリティ学セミナー	3後	1										兼57
	地域サステナビリティ学ラボワーク	3後	2										兼57

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通専門基礎教育科目	線形代数Ⅰ	1後	2								兼1	
	多変数の微積分学	1前	2								兼1	
	常微分方程式	1後	2								兼1	
	化学概論	1前	1								兼1	
	電磁気学概論	1後	1								兼1	
	情報スキル	1前	1			1		1				
	プログラミング演習Ⅰ	1前	2					2	1			
	工学実用英語	3後	1								兼6	
	学科共通専門基礎教育科目	プログラミング演習Ⅰ【情報】	1前	2	※				2	1		
		プログラミング演習Ⅱ	1後	2					1	1		
ソフトウェア基礎		1前	2			1						
コンピュータ基礎		1後	2			1						
システム基礎Ⅰ		1前	1	※		1		1				
システム基礎Ⅱ		1後	1								兼1	
確率・統計		1後	2								兼1	
離散数学Ⅰ		2前	2					1				
離散数学Ⅱ		2前	2				1					
プログラミング演習Ⅲ		2前	2			1		1				
プログラミング演習Ⅳ		2後	2			1		1				
アルゴリズムとデータ構造Ⅰ		2前	2					2				
アルゴリズムとデータ構造Ⅱ		2後	2					2				
コンピュータアーキテクチャ		2前	2			1						
情報ネットワーク		2前	2			1						
数理論理学		2後	2					1				
オペレーティングシステム		2後	2					1				
データベース論		2後	2					1				
情報工学実験		2後	2				1	2	3		兼2	
ソフトウェア実現		2後	2			2						
線形代数Ⅱ		1後	2								兼1	
論理回路		2前	2						1			
情報工学演習		2前	2					1				
数理計画法Ⅰ	2前	1					1					
数理計画法Ⅱ	2前	1					1					
形式言語とオートマトン	2後	2				1						
情報理論と符号理論	2後	2			1							
数値解析Ⅰ	2後	1						1				
数値解析Ⅱ	2後	1						1				
複素解析	2後	2								兼1		
職業指導	2前	2			2					兼1		
プログラム横断科目	ソリューションプランニングⅠ	2後	1			1		5	6			
	ソリューションプランニングⅡ	3後	1			1		5	6			
	ソフトウェア工学Ⅰ	3前	2			1						
	ソフトウェア工学Ⅱ	3前	2			1						
	プログラミング言語処理系	3前	2								兼1	
	情報セキュリティ	2後	2			1						
	並列分散コンピューティング	3前	2								兼1	
	インテリジェントシステム	3前	2					1				
	コンピュータ科学	コンピュータグラフィックス	3前	2			1					
ヒューマンコンピュータインタラクション		3前	2				1					
確率過程論		3前	2			1						
通信方式		3後	2			1						
画像処理		3後	2			1						
自然言語処理		3後	2			1						
グラフ理論		3後	2				1					
情報工学インターンシップ		3後	2			1						
情報工学研究実践		3後	2			5	4	5	6		兼2	
情報マネジメント	経営情報学	3前	2			1						
	ソフトウェア開発演習	3前	2			1			1			
	情報工学トピックス	3前	2								兼8	
	プロジェクトマネジメント論	3後	2			1						
	プロジェクトマネジメント演習	3後	2			1						
	システム開発論	3前	2								兼1	
	インターネット社会学	3前	2								兼1	
	情報工学インターンシップ	3後	2			1						
	情報工学研究実践	3後	2			5	4	5	6		兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通専門基礎教育科目	線形代数Ⅰ	1前	2								兼1	
	多変数の微積分学	1後	2								兼1	
	常微分方程式	2前	2								兼1	
	化学概論	1前	1								兼1	
	電磁気学概論	1後	1								兼1	
	情報スキル	1前	1					1		1		
	プログラミング演習Ⅰ	1前	2						2	1		
	工学実用英語	3後	1								兼6	
	学科共通専門基礎教育科目	プログラミング演習Ⅰ【情報】	1前	2	※					2	1	
		プログラミング演習Ⅱ	1後	2						1	1	
ソフトウェア基礎		1前	2			1						
コンピュータ基礎		1後	2			1						
システム基礎Ⅰ		1前	1	※		1		1				
システム基礎Ⅱ		1後	1								兼1	
確率・統計		1後	2								兼1	
離散数学Ⅰ		2前	2					1				
離散数学Ⅱ		2前	2					1				
プログラミング演習Ⅲ		2前	2			1		1		1		
プログラミング演習Ⅳ		2後	2			1		1		1		
アルゴリズムとデータ構造Ⅰ		2前	2						1	1		
アルゴリズムとデータ構造Ⅱ		2後	2							2		
コンピュータアーキテクチャ		2前	2			1						
情報ネットワーク		2前	2			1						
数理論理学		2後	2						1			
オペレーティングシステム		2後	2						1			
データベース論		2後	2						1			
情報工学実験		2後	2				1	2	3	1	3	兼2
ソフトウェア実現		2後	2			2						
線形代数Ⅱ		1後	2									兼1
論理回路		2前	2							1		
情報工学演習		2前	2						1			
数理計画法Ⅰ	2前	1					1					
数理計画法Ⅱ	2前	1					1					
形式言語とオートマトン	2後	2				1						
情報理論と符号理論	2後	2			1							
数値解析Ⅰ	2後	1							1			
数値解析Ⅱ	2後	1							1			
複素解析	2後	2									兼1	
職業指導	2前	2			2						兼1	
プログラム横断科目	ソリューションプランニングⅠ	2後	1			1		5	4	4		
	ソリューションプランニングⅡ	3後	1			1		5	4	4		
	ソフトウェア工学Ⅰ	3前	2			1						
	ソフトウェア工学Ⅱ	3前	2			1						
	プログラミング言語処理系	3前	2								兼1	
	情報セキュリティ	2後	2			1						
	並列分散コンピューティング	3前	2								兼1	
	インテリジェントシステム	3前	2							1		
	コンピュータ科学	コンピュータグラフィックス	3前	2			1					
ヒューマンコンピュータインタラクション		3前	2				1					
確率過程論		3前	2			1						
通信方式		3後	2			1						
画像処理		3後	2			1						
自然言語処理		3後	2			1						
グラフ理論		3後	2				1					
情報工学インターンシップ		3後	2			1						
情報工学研究実践		3後	2			7	3	5	4	4	兼2	
情報マネジメント	経営情報学	3前	2			1				1		
	ソフトウェア開発演習	3前	2			1				1		
	情報工学トピックス	3前	2								兼8	
	プロジェクトマネジメント論	3後	2			1						
	プロジェクトマネジメント演習	3後	2			1						
	システム開発論	3前	2								兼1	
	インターネット社会学	3前	2								兼1	
	情報工学インターンシップ	3後	2			1						
	情報工学研究実践	3後	2			7	3	5	4	4	兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
卒業研究	卒業研究	4通	8			5	4	5	6		兼2
学部共通科目	工業日本語ゼミナール	2・3・4期	2								兼1
	工業日本語ゼミナールI	2・3・4期	2								兼1
	日本語情報処理 I	2・3・4期	2								兼1
	日本語情報処理 II	2・3・4期	2								兼1
	工業日本語 I	2・3・4期	2								兼1
	工業日本語 II	2・3・4期	2								兼1
	工業日本語演習 I	2・3・4期	1								兼1
	工業日本語演習 II	2・3・4期	1								兼1
	工学概論	2・3・4期	2								兼11
	知的財産法	2・3・4期	1								兼1
	原子力工学概論	2・3・4期	2								兼10
工学地域PBL実習	2・3・4通	2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
卒業研究	卒業研究	4通	8			7	3	5	4		兼2
学部共通科目	工業日本語ゼミナール	2・3・4期	2								兼1
	工業日本語ゼミナールI	2・3・4期	2								兼1
	日本語情報処理 I	2・3・4期	2								兼1
	日本語情報処理 II	2・3・4期	2								兼1
	工業日本語 I	2・3・4期	2								兼1
	工業日本語 II	2・3・4期	2								兼1
	工業日本語演習 I	2・3・4期	1								兼1
	工業日本語演習 II	2・3・4期	1								兼1
	工学概論	2・3・4期	2								兼12
	知的財産法	2・3・4期	1								兼1
	原子力工学概論	2・3・4期	2								兼10
工学地域PBL実習	2・3・4通	2								兼1	

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ①授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当教員見直しのため、「大学入門ゼミ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、講師2」から「教授1、准教授1、講師1、助教2」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「茨城学」の専任教員等の配置を「兼13」から「兼8」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「Integrated English IA」「Integrated English IB」の兼任・兼担を「兼5」から「兼4」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「Integrated English II A」「Integrated English II B」の兼任・兼担を「兼11」から「兼15」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「Integrated English III A」の兼任・兼担を「兼1」から「兼3」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「Integrated English III B」の兼任・兼担を「兼2」から「兼4」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「Advanced English IA」「Advanced English IB」の兼任・兼担を「兼1」から「兼2」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「Advanced English II A」「Advanced English II B」の兼任・兼担を「兼4」から「兼3」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「Advanced English III A」の兼任・兼担を「兼5」から「兼3」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「Advanced English III B」の兼任・兼担を「兼1」から「兼3」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「Advanced English III C」の兼任・兼担を「兼2」から「兼1」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「情報リテラシー」の専任教員等の配置を「教授1、兼1」から「教授1、兼0」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「身体活動(必修)」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼6」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「身体活動(選択)」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「健康の科学」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼5」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「物理学基礎」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「化学基礎」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「微積分学」の専任教員等の配置を「准教授1、兼1」から「教授1、兼8」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「微積分学入門」「微積分学基礎」「力学入門」「力学基礎」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「力と運動」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼9」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「ドイツ語入門」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼6」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「中国語入門」の専任教員等の配置を「兼8」から「兼9」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「朝鮮語入門」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「学術日本語 II C」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「人間とコミュニケーション」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼10」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「多文化共生」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「コミュニケーションと芸術文化」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼5」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「思想・文学」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼9」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「歴史・考古学」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼11」に変更。 ・ 担当教員見直しのため、「人間科学」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼10」に変更。
--

- ・担当教員見直しのため、「メディア文化」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼6」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「音楽文化」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「美術文化」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼5」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「物質と生命」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼11」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「技術と社会」の専任教員等の配置を「教授2、兼4」から「教授1、兼13」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「環境と人間」の専任教員等の配置を「兼22」から「兼15」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「経済・経営」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼4」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「日本国憲法」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「公共社会」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼12」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「グローバル・スタディーズ」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼5」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「ライフデザイン」の専任教員等の配置を「兼8」から「兼3」に変更。
- ・時間割見直しのため、「グローバル英語プログラム科目」の配当年次を「2③④」から「2③～3④」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「Academic Writing」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「Studies in Particular Fields」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「Reading & Discussion」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「Academic Speaking」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「多文化社会と日本語教育」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・時間割見直しのため、「5学部混合地域PBLⅢ」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「5学部混合地域PBLⅢ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「5学部混合地域PBLⅣ」を追加。
- ・担当教員見直しのため、「地域サステイナビリティ学概論」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「環境共生論」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼4」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「地域サステイナビリティ学特別講義Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「地域サステイナビリティ学特別講義Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「地域サステイナビリティ学ゼミナール」の専任教員等の配置を「兼60」から「兼57」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「地域サステイナビリティ学ラボワーク」の専任教員等の配置を「兼60」から「兼57」に変更。
- ・時間割見直しのため、「線形代数Ⅰ」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・時間割見直しのため、「多変数の微積分学」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・時間割見直しのため、「常微分方程式」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。
- ・申請時の表記誤りのため、「システム基礎Ⅰ」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・担当教員退職のため、「プログラミング演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」から「教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員退職のため、「アルゴリズムとデータ構造Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師1、助教1」に変更。
- ・担当教員退職のため、「情報工学実験」の専任教員等の配置を「准教授1、講師2、助教3」から「准教授1、講師1、助教3」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「ソリューションプランニングⅠ」の専任教員等の配置を「教授1、講師5、助教6」から「教授1、講師5、助教4」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「ソリューションプランニングⅡ」の専任教員等の配置を「教授1、講師5、助教6」から「教授1、講師5、助教4」に変更。
- ・担当教員退職及び担当教員見直しのため、「情報工学研究実践」の専任教員等の配置を「教授5、准教授4、講師5、助教6」から「教授7、准教授3、講師5、助教4」に変更。
- ・新規任用予定教員の職位変更のため、「経営情報学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員退職及び担当教員見直しのため、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授5、准教授4、講師5、助教6」から「教授7、准教授3、講師5、助教4」に変更。
- ・担当教員見直しのため、「工学概論」の兼任・兼担を「兼11」から「兼12」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
43 科目	122 科目	1 科目	166 科目	43 科目 []	123 科目 [1]	1 科目 []	167 科目 [1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{166} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	369,215㎡	㎡	㎡	369,215㎡			
	運動場用地	114,255㎡	㎡	㎡	114,255㎡			
	小 計	483,470㎡	㎡	㎡	483,470㎡			
	そ の 他	315,124㎡	㎡	㎡	315,124㎡			
	合 計	798,594㎡	㎡	㎡	798,594㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		147,665㎡ (147,665㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	147,665㎡ (147,665㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		27室	3室	130室	0室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		工学部 情報工学科			19 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	学部単位での特定不能な ため、大学全体の数
	工学部 情報工学科	1,008,826 (282,013) (1,008,826 [282,013])	16,462 [4,704] (16,462 [4,704])	2,430 [2,429] (2,430 [2,429])	3,123 (3,123)	— ()	— ()	
	計	1,008,826 (282,013) (1,008,826 [282,013])	16,462 [4,704] (16,462 [4,704])	2,430 [2,429] (2,430 [2,429])	3,123 (3,123)	— ()	— ()	
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		11,986㎡		997	958,000		大学全体	
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		3,160㎡		テニスコート7面	プール (25m×15m) 1基		大学全体	
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	茨城大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文社会科学部									
現代社会学科	4	130	—	520	学士 (現代社会学)	1.03	平成29年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
法律経済学科	4	120	—	480	学士 (社会科学)	1.03	平成29年度	同上	
人間文化学科	4	110	—	440	学士 (人文学)	1.05	平成29年度	同上	
人文学部									
人文コミュニケーション学科	4	—	—	—	学士 (人文学)	—	平成18年度	同上	平成29年度より学生募集停止
社会科学科	4	—	—	—	学士 (社会科学)	—	昭和50年度	同上	平成29年度より学生募集停止
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	240	—	960	学士 (教育学)	1.05	平成8年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
養護教諭養成課程	4	35	—	140	学士 (教育学)	1.03	昭和50年度	同上	
情報文化課程	4	—	—	—	学士 (教養)	—	平成元年度	同上	平成29年度より学生募集停止
人間環境教育課程	4	—	—	—	学士 (教養)	—	平成11年度	同上	平成29年度より学生募集停止
理学部									
理学科	4	205	4	828	学士 (理学)	1.05	平成17年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
工学部									
機械システム工学科	4	130	6	532	学士 (工学)	1.06	平成30年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	
機械システム工学科(夜)	4	40	—	160	学士 (工学)	1.02	平成30年度	同上	
電気電子システム工学科	4	125	5	510	学士 (工学)	1.01	平成30年度	同上	
物質科学工学科	4	110	3	446	学士 (工学)	1.00	平成30年度	同上	
情報工学科	4	80	4	328	学士 (工学)	1.02	平成30年度	同上	
都市システム工学科	4	60	2	244	学士 (工学)	1.03	平成30年度	同上	
機械工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成2年度	同上	平成30年度より学生募集停止
生体分子機能工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17年度	同上	平成30年度より学生募集停止
マテリアル工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17年度	同上	平成30年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成2年度	同上	平成30年度より学生募集停止
メディア通信工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成8年度	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17年度	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学科(B)	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17年度	同上	平成30年度より学生募集停止
農学部									
食生命科学科	4	80	5	330	学士 (農学)	1.04	平成29年度	茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1	

地域総合農学科	4	80	5	330	学士 (農学)	1.06	平成29年度	同上	
生物生産科学科	4	—	—	—	学士 (農学)	—	平成12年度	同上	平成29年度より学生募集停止
資源生物科学科	4	—	—	—	学士 (農学)	—	昭和62年度	同上	平成29年度より学生募集停止
地域環境科学科	4	—	—	—	学士 (農学)	—	平成12年度	同上	平成29年度より学生募集停止
人文社会科学研究科									
文化科学専攻	2	13	—	26	修士 (学術)	0.88	平成21年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
社会科学専攻	2	12	—	24	修士 (学術)	1.41	平成26年度	同上	
地域政策専攻	2	—	—	—	修士 (学術)	—	平成6年度	同上	平成26年度より学生募集停止
教育学研究科									
障害児教育専攻	2	3	—	6	修士 (教育学)	1.16	昭和63年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
教科教育専攻	2	22	—	44	修士 (教育学)	1.20	昭和63年度	同上	
養護教育専攻	2	3	—	6	修士 (教育学)	0.83	平成9年度	同上	
学校臨床心理専攻	2	9	—	18	修士 (教育学)	1.16	平成13年度	同上	
教育実践高度化専攻	2	15	—	30	教職修士 (専門職)	1.03	平成28年度	同上	
理工学研究科									
(博士前期課程)									
量子線科学専攻	2	102	—	204	修士(理学) 修士(工学)	0.91	平成28年度	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
理学専攻	2	45	—	90	修士 (理学)	1.21	平成21年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
機械システム工学専攻	2	86	—	172	修士 (工学)	1.36	平成30年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	
電気電子システム工学専攻	2	58	—	116	修士 (工学)	1.05	平成30年度	同上	
情報工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	1.40	平成30年度	同上	
都市システム工学専攻	2	27	—	54	修士 (工学)	1.03	平成30年度	同上	
機械工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成7年度	同上	平成30年度より学生募集停止
電気電子工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成7年度	同上	平成30年度より学生募集停止
ワイヤ通信工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成12年度	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成21年度	同上	平成30年度より学生募集停止
応用粒子線科学専攻	2	—	—	—	修士(理学) 修士(工学)	—	平成16年度	同上	平成28年度より学生募集停止
(博士後期課程)									
量子線科学専攻	3	20	—	60	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.60	平成28年度	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
複雑系システム科学専攻	3	10	—	30	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.90	平成28年度	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
社会システム科学専攻	3	8	—	24	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.62	平成28年度	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
物質科学専攻	3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	平成7年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
生産科学専攻	3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	平成7年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
情報・システム科学専攻	3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	平成7年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
宇宙地球システム科学専攻	3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	平成7年度	茨城県水戸市文京2-1-1	平成28年度より学生募集停止

環境機能科学専攻	3	—	—	—	博士（理学） 博士（工学） 博士（学術）	—	平成8年度	茨城県水戸市文京2-1-1	平成28年度より学生募集停止
応用粒子線科学専攻	3	—	—	—	博士（理学） 博士（工学） 博士（学術）	—	平成16年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
農学研究科									
農学専攻	2	48	—	96	修士 （農学）	0.77	平成29年度	茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1	
生物生産科学専攻	2	—	—	—	修士 （農学）	—	平成16年度	同上	平成29年度より学生募集停止
資源生物科学専攻	2	—	—	—	修士 （農学）	—	平成3年度	同上	平成29年度より学生募集停止
地域環境科学専攻	2	—	—	—	修士 （農学）	—	平成16年度	同上	平成29年度より学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については，必ず記入するとともに，下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
5	4	5	6	20	7	3	5	4	19	5	4	5	4	18
(7)	(3)	(5)	(4)	(19)						[0]	[0]	[0]	[Δ2]	[Δ2]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{20} = \boxed{90} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{19} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 **該当なし**

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	教授		必修							
			選択							
			必修							
2	准教授		自由							
			必修							
			必修							
合計 (D)			後任補充状況の集計 (E)							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	講師		必修	プログラミング演習Ⅲ	①	H30.3.31付け私事都合のため辞任 (30)				
			必修	アルゴリズムとデータ構造Ⅰ	①					
			必修	情報工学実験	①					
			必修	ソリューションプランニングⅠ	①					
			必修	ソリューションプランニングⅡ	①					
			必修	情報工学研究実践	①					
			必修	卒業研究	①					
合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1	人	必修	21	科目	必修	7	科目	必修	7	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	21	科目	計	7	科目	計	7	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1	人	必修	21	科目	必修	7	科目	必修	7	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	21	科目	計	7	科目	計	7	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{20} = \boxed{5} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 **該当なし**

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授		必修				
			選択				
			必修				
2	准教授		自由				
			必修				
			必修				
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>専任教員の辞任があったが全て複数人で担当する科目であり、既存の担当専任教員で開講可能である。また、これらの科目は2年次以降に開講される科目であり、今年度において学生の混乱は生じていない。 年度開始時に学生に配布する時間割一覧に変更後の情報を記載することで学生に周知を行う。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等 該当なし

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・大学設置基準に抵触 するため、改めるこ と。(△△学部△△学 科)	留意事項	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・〇〇学部〇〇学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(◆◆学 科、●●学科)の～す ること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)	・〇〇学部〇〇学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(◆◆学 科、●●学科)の～す ること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・××学部××学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(□□学 科、■●学科)の～す ること。	改善意見	履行済

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<工学部 情報工学科>

(1) 設置計画変更事項等 該当なし

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 A. 教育改善委員会 B. ②産学協同カリキュラム改良委員会 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) A. 学期始めを中心に、年6回程度開催 B. 年1回～2回程度開催 c 委員会の審議事項等 A. -1 授業アンケート及び学科教育点検に関すること -2 FD及び推奨授業に関すること -3 JABEEに関すること B. カリキュラム及び授業に関すること ② 実施状況 a 実施内容 A. 第1回(H29.4.27 出席者9名) 授業アンケートについて、推奨授業について 他 第2回(H29.5.22 出席者11名) 授業アンケートについて、学科教育点検について、JABEEについて 他 第3回(H29.9.13 出席者10名) 推奨授業について、学科教育点検について、JABEEについて 他 第4回(H29.10.17 出席者11名) 推奨授業について、学科教育点検について、FD研修会について 他 第5回(H29.11.17 出席者9名) 授業アンケートについて、推奨授業について、JABEEについて 他 第6回(H29.12.22 出席者9名) 授業アンケートについて、学科教育点検について、FD研修会について 他 第7回(H30.2.14 出席者10名) FD研修会について、H30活動計画について 他 ・FD研修会の実施(H29.12.13 出席者119名) B. 第1回(H29.12.1 出席者24名) 学部及び大学院の授業について b 実施方法 上記のとおり c 開催状況(教員の参加状況含む) 上記のとおり d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 上記A及びBの審議を踏まえ、学科長から所属各教員に改善内容を周知し、それぞれが改善に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各学期の講義最終回にアンケートを実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

結果を担当教員に周知するほか、学科内で共有を図っている。

学生に対して公表はしていない。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

計画どおり実施している。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って計画どおり教育研究活動を実施する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成30年7月30日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定(平成30年7月末を予定)

③ 認証評価を受ける計画

・平成34年度に評価機関(大学改革支援・学位授与機構)の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表(予定)の有無 (有) ・ 無)

b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (平成30年 9月 1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

注3

大学番号：015

[平成30年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

茨城大学 工学部 都市システム工学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人茨城大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部総務課

職名・氏名 課長補佐（法規担当）
ハセガワ シンゴ
長谷川 慎吾

電話番号 029-228-8009

（夜間） 029-228-8035

F A X 029-228-8019

e-mail iba-houki@ml.ibaraki.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学部

＜都市システム工学科＞		ページ
1. 調査対象大学等の概要等	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. 授業科目の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	・・・・・・・・・・・・・・・・	11
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	12
5. 教員組織の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	15
6. 留意事項等に対する履行状況等	・・・・・・・・・・・・・・・・	42
7. その他全般的事項	・・・・・・・・・・・・・・・・	44

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人茨城大学

(2) 大学名

茨城大学

(3) 大学の位置

〒316-8511
茨城県日立市中成沢町4-12-1

[〒310-8512
茨城県水戸市文京2-1-1]

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ミムラ ノブオ) 三村 信男 (平成26年9月)		
学部長	(マスザワ トオル) 増澤 徹 (平成30年4月)		
学科長等	(ハラダ タカオ) 原田 隆郎 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 都市システム工 学科 学士(工学)	工学関係	4年	60人	3年次 2人	244人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60人 (-) [若干名]	人	人	人	人	人	人	人	1.03倍	
志願者数	228 (-) [14]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	166 (-) [9]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	84 (-) [2]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	62 (-) [1]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.03									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	62 [1] (-)	[] ()							
2年次	/		[] ()						
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	62 [1] (-)	[] ()							

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	62人	1人	平成30年度	1人	0人	・学生個人の心身に関する事情(1人)
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合計	62人	1人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{62} = \boxed{1.61} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学部 都市システム工学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
入門科目	大学入門ゼミ	1前	2			6	5	1	3			兼13	
	茨城学	1②③	2										
共通基礎科目	ブラクティカル・イングリッシュ(PE)												
	Integrated English I A	1前		2								兼5	
	Integrated English II A	1前		2								兼11	
	Integrated English III A	1前		2								兼1	
	Integrated English I B	1後		1								兼5	
	Integrated English II B	1後		1								兼11	
	Integrated English III B	1後		1								兼2	
	Advanced English I A	2前		1								兼1	
	Advanced English I B	2後		1								兼1	
	Advanced English II A	2・3前		1								兼4	
	Advanced English II B	2後		1								兼4	
	Advanced English III A	2・3前		1								兼5	
	Advanced English III B	2後		1								兼1	
	Advanced English III C	2・3前		1								兼2	
	情報リテラシー												
	情報リテラシー	1前	2			1							
	心と体の健康												
	身体活動	1前後	1										兼3
	身体活動	2前後	1										兼4
	健康の科学	1①~④	1										兼2
	科学の基礎												
	数学基礎	1①②	1										兼2
	物理学基礎	1①②	1										兼3
	化学基礎	1①②	1										兼2
	生物学基礎	1①②	1										兼1
	微積分学	1前	2										兼2
	微積分学入門	1①	2										兼2
	微積分学基礎	1②	2										兼2
カと運動	1前	2			1							兼1	
力学入門	1①	2										兼2	
力学基礎	1②	2										兼2	
科学と倫理B	2前後	2										兼2	
リベラルアーツ科目	多文化理解												
	異文化コミュニケーション												
	ドイツ語入門	1後	1									兼3	
	フランス語入門	1後	1									兼2	
	中国語入門	1後	1									兼8	
	朝鮮語入門	1後	1									兼2	
	スペイン語入門	1後	1									兼2	
	学術日本語 I	1前後	1									兼2	
	学術日本語 II A	1前後・2前	1									兼2	
	学術日本語 II B	1前	1									兼1	
	学術日本語 II C	1後	1									兼1	
	人間とコミュニケーション	1③~③②	1									兼6	
	多文化共生	1③~③②	1									兼1	
	コミュニケーションと芸術文化	1③~③②	1									兼4	
	ヒューマニティーズ												
	思想・文学	1③~③②	1										兼3
	歴史・考古学	1③~③②	1										兼6
	人間科学	1③~③②	1										兼5
	メディア文化	1③~③②	1										兼2

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
入門科目	大学入門ゼミ	1前	2										
	茨城学	1②③	2						1			兼8	
共通基礎科目	ブラクティカル・イングリッシュ(PE)												
	Integrated English I A	1前		2								兼4	
	Integrated English II A	1前		2								兼15	
	Integrated English III A	1前		2								兼3	
	Integrated English I B	1後		1								兼4	
	Integrated English II B	1後		1								兼15	
	Integrated English III B	1後		1								兼4	
	Advanced English I A	2前		1								兼2	
	Advanced English I B	2後		1								兼2	
	Advanced English II A	2・3前		1								兼4	
	Advanced English II B	2後		1								兼3	
	Advanced English III A	2・3前		1								兼3	
	Advanced English III B	2後		1								兼3	
	Advanced English III C	2・3前		1								兼1	
	情報リテラシー												
	情報リテラシー	1前	2										兼1
	心と体の健康												
	身体活動	1前後	1										兼6
	身体活動	2前後	1										兼1
	健康の科学	1①~④	1										兼5
	科学の基礎												
	数学基礎	1①②	1										兼2
	物理学基礎	1①②	1										兼2
	化学基礎	1①②	1										兼2
	生物学基礎	1①②	1										兼1
	微積分学	1前	2										兼9
	微積分学入門	1①	2										兼1
	微積分学基礎	1②	2										兼1
カと運動	1前	2						1				兼8	
力学入門	1①	2										兼1	
力学基礎	1②	2										兼1	
科学と倫理B	2前後	2										兼2	
リベラルアーツ科目	多文化理解												
	異文化コミュニケーション												
	ドイツ語入門	1後	1									兼6	
	フランス語入門	1後	1									兼2	
	中国語入門	1後	1									兼9	
	朝鮮語入門	1後	1									兼3	
	スペイン語入門	1後	1									兼2	
	学術日本語 I	1前後	1									兼2	
	学術日本語 II A	1前後・2前	1									兼2	
	学術日本語 II B	1前	1									兼1	
	学術日本語 II C	1後	1									兼2	
	人間とコミュニケーション	1③~③②	1									兼10	
	多文化共生	1③~③②	1									兼4	
	コミュニケーションと芸術文化	1③~③②	1									兼5	
	ヒューマニティーズ												
	思想・文学	1③~③②	1										兼9
	歴史・考古学	1③~③②	1										兼11
	人間科学	1③~③②	1										兼10
	メディア文化	1③~③②	1										兼6

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
リベラルアーツ科目	パフォーマンス&アート											
	スポーツ文化	1③~3②		1								兼1
	音楽文化	1③~3②		1								兼1
	美術文化	1③~3②		1								兼3
	ダンス・演劇文化	1③~3②		1								兼1
	自然と社会の広がり											
	自然・環境と人間											
	物質と生命	1③~3④		1								兼6
	技術と社会	1③~3④		1								兼6
	環境と人間	1③~3④		1		1						兼21
	グローバル化と人間社会											
	法律・政治	1③~3④		1								兼4
	経済・経営	1③~3④		1								兼5
	日本国憲法	2①~3②		1								兼2
公共社会	1③~3④		1								兼6	
グローバル・スタディーズ	1③~3④		1								兼4	
キャリアを考える												
ライフデザイン												
ライフデザイン	3①②	1										兼8
全学共通科目	グローバル英語プログラム科目											
	Academic Writing	2③		1								兼1
	Studies in Particular Fields	2③		1								兼1
	Reading & Discussion	2④		1								兼1
	Academic Speaking	2④		1								兼1
	Presentations in English	3①		1								兼1
	TOEIC & TOEFL	3②		1								兼1
	English for Socializing	3③		1								兼1
	Studying Abroad	3③		1								兼1
	Bilingualism	3④		1								兼1
	Studies in Contemporary Japan	3④		1								兼1
	日本語教育プログラム科目											
	日本語教育概論	2前	2									兼1
	多文化社会と日本語教育	2前	2									兼1
	日本語教授法 I	2後	2									兼1
	日本語教授法 II	3前	2									兼1
	日本語教授法演習	3後・4前	2									兼5
	日本語教授法演習(海外)	3後・4前	2									兼5
	COC地域志向教育プログラム科目											
	5学部混合地域PBL I	1前	2									兼1
5学部混合地域PBL II	2前	2									兼1	
5学部混合地域PBL III	1前	2									兼1	
AIMSプログラム科目												
地域サステナビリティ学概論	2後	1									兼3	
環境共生論	2後	2									兼6	
環境保全型農業論	2後	2									兼6	
フィールド実践演習	2後	1									兼1	
環境変動適応・防災論	2後	2									兼3	
地域環境管理論	2後	2									兼3	
地域サステナビリティ学特別講義 I	2後	1									兼2	
地域サステナビリティ学特別講義 II	2後	1									兼2	
地域サステナビリティ学セミナー	3後	1									兼60	
地域サステナビリティ学ラボワーク	3後	2									兼60	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
リベラルアーツ科目	パフォーマンス&アート											
	スポーツ文化	1③~3②		1								兼1
	音楽文化	1③~3②		1								兼3
	美術文化	1③~3②		1								兼5
	ダンス・演劇文化	1③~3②		1								兼1
	自然と社会の広がり											
	自然・環境と人間											
	物質と生命	1③~3④		1								兼11
	技術と社会	1③~3④		1								兼14
	環境と人間	1③~3④		1		1						兼14
	グローバル化と人間社会											
	法律・政治	1③~3④		1								兼4
	経済・経営	1③~3④		1								兼4
	日本国憲法	2①~3②		1								兼1
公共社会	1③~3④		1								兼12	
グローバル・スタディーズ	1③~3④		1								兼4	
キャリアを考える												
ライフデザイン												
ライフデザイン	3①②	1										兼3
全学共通科目	グローバル英語プログラム科目											
	Academic Writing	2③~3④		1								兼1
	Studies in Particular Fields	2③~3④		1								兼2
	Reading & Discussion	2③~3④		1								兼3
	Academic Speaking	2③~3④		1								兼3
	Presentations in English	2③~3④		1								兼1
	TOEIC & TOEFL	2③~3④		1								兼1
	English for Socializing	2③~3④		1								兼1
	Studying Abroad	2③~3④		1								兼1
	Bilingualism	2③~3④		1								兼1
	Studies in Contemporary Japan	2③~3④		1								兼1
	日本語教育プログラム科目											
	日本語教育概論	2前	2									兼1
	多文化社会と日本語教育	2前	2									兼2
	日本語教授法 I	2後	2									兼1
	日本語教授法 II	3前	2									兼1
	日本語教授法演習	3後・4前	2									兼5
	日本語教授法演習(海外)	3後・4前	2									兼5
	COC地域志向教育プログラム科目											
	5学部混合地域PBL I	1前	2									兼1
5学部混合地域PBL II	2前	2									兼1	
5学部混合地域PBL III	1後	2									兼2	
5学部混合地域PBL IV	1前	2									兼3	
AIMSプログラム科目												
地域サステナビリティ学概論	2後	1									兼2	
環境共生論	2後	2									兼4	
環境保全型農業論	2後	2									兼6	
フィールド実践演習	2後	1									兼1	
環境変動適応・防災論	2後	2									兼3	
地域環境管理論	2後	2					1				兼3	
地域サステナビリティ学特別講義 I	2後	1									兼1	
地域サステナビリティ学特別講義 II	2後	1									兼3	
地域サステナビリティ学セミナー	3後	1									兼57	
地域サステナビリティ学ラボワーク	3後	2									兼57	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通専門基礎教育科目	線形代数Ⅰ	1前	2								兼1
	多変数の微積分学	1後	2								兼1
	常微分方程式	2前	2								兼1
	化学概論	1前	1								兼1
	電磁気学概論	1後	1								兼1
	情報スキル	1後	1								兼1
	プログラミング演習Ⅰ	2前	2				1				
	工学実用英語	3後	1								兼6
	学科共通専門基礎教育科目	都市システム工学序論	1前	2			6				
都市システム工学製図		1前	2					1			
材料力学		1後	2				1				
建設材料学		2前	2				1				
構造力学Ⅰ		2前	2				1				兼1
測量学		2前	2								
都市・地域計画		1後	2				1				
景観工学		2後	2					1			
地球環境工学		2後	2				1	1			
建築学概論		1後	2				1	2	1	1	
線形代数Ⅱ		1後		2							兼1
複素解析		2後		2							兼1
フーリエ解析		3前		2							兼1
応用地質学		1前		2							兼1
造形演習Ⅰ		1後		1				1			
造形演習Ⅱ		1後		1					1		
数理統計	2前		2				1				
多変量解析	2後		2				1				
職業指導	2後			2							兼1
プログラム横断科目	地盤力学Ⅰ	2前		2			1				
	建築法規	3前		2			1				
	測量学実習	2前	1								兼2
	都市システム工学実験Ⅰ	3前	1				2	2			
	都市防災システム工学	3後		2			2	1			
	鉄筋コンクリート工学	2後		2			1				
	振動及び耐震工学	3前		2				1			
	橋梁及び鋼構造	3前		2			1				
	公共事業評価とリスク分析	3後		2				1			
	輸送施設工学	3後		2				2			兼3
	都市システム工学特別講義	3後		2			1	1			
都市システム情報処理	2前		1			2	5				
都市システム工学インターシッ	3後		2			1	1				
建築実務基礎論	4前		2							兼1	
社会基盤デザインプログラム	水理学Ⅰ	2前		2			1				
	土木計画学	2後		2			1				
	社会基盤設計演習Ⅰ	3前		1			2	1			
	社会基盤設計演習Ⅱ	3後		1			3	2			
	都市システム工学実験Ⅱ	3後		1			2	2			兼1
	都市システムフィールドワーク	2後		1			1	1			兼1
	構造力学Ⅱ	2後		2				1			
	水理学Ⅱ	2後		2			1				
	地盤力学Ⅱ	2後		2				1			
	地盤工学	3前		2			1				
	海岸工学	3前		2				1			
	上下水道工学	3前		2				1			
	水環境学	3後		2					1		
	河川・水文学	3後		2							兼1
	交通システム	3前		2			1				
空間情報工学	2後		2							兼1	
建設施工	3後		2							兼3	
社会基盤工学基礎演習Ⅰ	2前		1			3				兼1	
社会基盤工学基礎演習Ⅱ	2後		1			2	3				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通専門基礎教育科目	線形代数Ⅰ	1前	2								兼1
	多変数の微積分学	1後	2					1			
	常微分方程式	2前	2								兼1
	化学概論	1前	1								兼1
	電磁気学概論	1後	1								兼1
	情報スキル	1後	1								兼1
	プログラミング演習Ⅰ	2前	2					1			
	工学実用英語	3後	1								兼6
	学科共通専門基礎教育科目	都市システム工学序論	1前	2				6			
都市システム工学製図		1前	2						1	1	
材料力学		1後	2					1			
建設材料学		2前	2					1			
構造力学Ⅰ		2前	2					1			兼1
測量学		2前	2								
都市・地域計画		1後	2					1			
景観工学		2後	2						1		
地球環境工学		2後	2					1	1		
建築学概論		1後	2					1	2	1	2
線形代数Ⅱ		1後		2							兼1
複素解析		2後		2							兼1
フーリエ解析		3前		2							兼1
応用地質学		1前		2							兼1
造形演習Ⅰ		1後		1							1
造形演習Ⅱ		1後		1							1
数理統計	2前		2					1			
多変量解析	2後		2					1			
職業指導	2後			2							兼1
プログラム横断科目	地盤力学Ⅰ	2前		2				1			
	建築法規	3前		2				1			
	測量学実習	2前	1								兼2
	都市システム工学実験Ⅰ	3前	1					2	2		
	都市防災システム工学	3後		2				2	1		
	鉄筋コンクリート工学	2後		2				1			
	振動及び耐震工学	3前		2					1		
	橋梁及び鋼構造	3前		2				1			
	公共事業評価とリスク分析	3後		2					1		
	輸送施設工学	3後		2				2			兼3
	都市システム工学特別講義	3後		2				1	1		
都市システム情報処理	2前		1				2	5			
都市システム工学インターシッ	3後		2				1	1			
建築実務基礎論	4前		2							兼1	
社会基盤デザインプログラム	水理学Ⅰ	2前		2				1			
	土木計画学	2後		2				1			
	社会基盤設計演習Ⅰ	3前		1				2	1		
	社会基盤設計演習Ⅱ	3後		1				3	2		
	都市システム工学実験Ⅱ	3後		1				2	2		兼1
	都市システムフィールドワーク	2後		1				1	1		兼1
	構造力学Ⅱ	2後		2					1		
	水理学Ⅱ	2後		2				1			
	地盤力学Ⅱ	2後		2					1		
	地盤工学	3前		2				2			
	海岸工学	3前		2					1		
	上下水道工学	3前		2						1	
	水環境学	3後		2						1	
	河川・水文学	3後		2							兼1
	交通システム	3前		2					1		
空間情報工学	2後		2							兼1	
建設施工	3後		2							兼3	
社会基盤工学基礎演習Ⅰ	2前		1				3			兼1	
社会基盤工学基礎演習Ⅱ	2後		1				2	3			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
建築デザインプログラム	建築一般構造	2前		2			1					
	建築計画学	2前		2			1					
	建築環境工学	2後		2				1				
	建築構造設計	3後		2			1					
	建築設備	3後		2				1				
	建築施工	3前		2		1						
	建築設計製図Ⅰ	2前		2			1		1			兼1
	建築設計製図Ⅱ	2後		2					1			
	建築設計製図Ⅲ	3前		2			2					
	建築設計製図Ⅳ	3後		2								兼1
	建築環境工学演習	3前		1				1				
	建築史	3前		2					1			
卒業研究	4通	8				6	5	1	3			兼2
学部共通科目	工業日本語ゼミナールⅠ	2-3-4前		2								兼1
	工業日本語ゼミナールⅡ	2-3-4後		2								兼1
	日本語情報処理Ⅰ	2-3-4前		2								兼1
	日本語情報処理Ⅱ	2-3-4後		2								兼1
	工業日本語Ⅰ	2-3-4前		2								兼1
	工業日本語Ⅱ	2-3-4後		2								兼1
	工業日本語演習Ⅰ	2-3-4前		1								兼1
	工業日本語演習Ⅱ	2-3-4後		1								兼1
	工学概論	2-3-4前		2		5						兼6
	知的財産法	2-3-4後		1								兼1
	原子力工学概論	2-3-4後		2								兼10
	工学地域PBL実習	2-3-4通		2								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
建築デザインプログラム	建築一般構造	2前		2			1					
	建築計画学	2前		2			1					
	建築環境工学	2後		2				1				
	建築構造設計	3後		2			1					
	建築設備	3後		2				1				
	建築施工	3前		2		1						
	建築設計製図Ⅰ	2前		2			1		1			兼1
	建築設計製図Ⅱ	2後		2					1			
	建築設計製図Ⅲ	3前		2			2					
	建築設計製図Ⅳ	3後		2				1				
	建築環境工学演習	3前		1					1			
	建築史	3前		2						1		
卒業研究	4通	8				8	7	1	2			兼2
学部共通科目	工業日本語ゼミナールⅠ	2-3-4前		2								兼1
	工業日本語ゼミナールⅡ	2-3-4後		2								兼1
	日本語情報処理Ⅰ	2-3-4前		2								兼1
	日本語情報処理Ⅱ	2-3-4後		2								兼1
	工業日本語Ⅰ	2-3-4前		2								兼1
	工業日本語Ⅱ	2-3-4後		2								兼1
	工業日本語演習Ⅰ	2-3-4前		1								兼1
	工業日本語演習Ⅱ	2-3-4後		1								兼1
	工学概論	2-3-4前		2		5		1				兼6
	知的財産法	2-3-4後		1								兼1
	原子力工学概論	2-3-4後		2								兼10
	工学地域PBL実習	2-3-4通		2								兼1

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

・担当教員見直しのため、	「大学入門ゼミ」の専任教員等の配置を「教授6、准教授5、講師1、助教3」から「准教授1」に変更。
・担当教員見直しのため、	「茨城学」の専任教員等の配置を「兼13」から「兼8」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Integrated English IA」「Integrated English IB」の兼任・兼担を「兼5」から「兼4」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Integrated English IIA」「Integrated English IIB」の兼任・兼担を「兼11」から「兼15」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Integrated English IIIA」の兼任・兼担を「兼1」から「兼3」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Integrated English IIIB」の兼任・兼担を「兼2」から「兼4」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Advanced English IA」「Advanced English IB」の兼任・兼担を「兼1」から「兼2」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Advanced English IIA」「Advanced English IIB」の兼任・兼担を「兼4」から「兼3」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Advanced English IIIA」の兼任・兼担を「兼5」から「兼3」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Advanced English IIIB」の兼任・兼担を「兼1」から「兼3」に変更。
・担当教員見直しのため、	「Advanced English IIIC」の兼任・兼担を「兼2」から「兼1」に変更。
・担当教員見直しのため、	「情報リテラシー」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0、兼1」に変更。
・担当教員見直しのため、	「身体活動(必修)」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼6」に変更。
・担当教員見直しのため、	「身体活動(選択)」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼1」に変更。
・担当教員見直しのため、	「健康の科学」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼5」に変更。
・担当教員見直しのため、	「物理学基礎」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
・担当教員見直しのため、	「化学基礎」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・担当教員見直しのため、	「微積分学」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼9」に変更。
・担当教員見直しのため、	「微積分学入門」「微積分学基礎」「力学入門」「力学基礎」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
・担当教員見直しのため、	「力と運動」の専任教員等の配置を「教授1、兼1」から「教授1、兼8」に変更。
・担当教員見直しのため、	「ドイツ語入門」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼6」に変更。
・担当教員見直しのため、	「中国語入門」の専任教員等の配置を「兼8」から「兼9」に変更。
・担当教員見直しのため、	「朝鮮語入門」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
・担当教員見直しのため、	「学術日本語II C」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
・担当教員見直しのため、	「人間とコミュニケーション」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼10」に変更。
・担当教員見直しのため、	「多文化共生」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
・担当教員見直しのため、	「コミュニケーションと芸術文化」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼5」に変更。
・担当教員見直しのため、	「思想・文学」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼9」に変更。
・担当教員見直しのため、	「歴史・考古学」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼11」に変更。
・担当教員見直しのため、	「人間科学」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼10」に変更。

<ul style="list-style-type: none"> ・担当教員見直しのため、「メディア文化」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼6」に変更。 ・担当教員見直しのため、「音楽文化」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。 ・担当教員見直しのため、「美術文化」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼5」に変更。 ・担当教員見直しのため、「物質と生命」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼11」に変更。 ・担当教員見直しのため、「技術と社会」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼14」に変更。 ・担当教員見直しのため、「環境と人間」の専任教員等の配置を「兼22」から「兼14」に変更。 ・担当教員見直しのため、「経済・経営」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼4」に変更。 ・担当教員見直しのため、「日本国憲法」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。 ・担当教員見直しのため、「公共社会」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼12」に変更。 ・担当教員見直しのため、「グローバル・スタディーズ」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼5」に変更。 ・担当教員見直しのため、「ライフデザイン」の専任教員等の配置を「兼8」から「兼3」に変更。 ・時間割見直しのため、「グローバル英語プログラム科目」の配当年次を「2③④」から「2③～3④」に変更。 ・担当教員見直しのため、「Academic Writing」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。 ・担当教員見直しのため、「Studies in Particular Fields」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。 ・担当教員見直しのため、「Reading & Discussion」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。 ・担当教員見直しのため、「Academic Speaking」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。 ・担当教員見直しのため、「多文化社会と日本語教育」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。 ・時間割見直しのため、「5学部混合地域PBLⅢ」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。 ・担当教員見直しのため、「5学部混合地域PBLⅢ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。 ・教育内容の充実のため、「5学部混合地域PBLⅣ」を追加。 ・担当教員見直しのため、「地域サステイナビリティ学概論」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更。 ・担当教員見直しのため、「環境共生論」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼4」に変更。 ・担当教員見直しのため、「地域環境管理論」の専任教員等の配置を「兼3」から「教授1、准教授1、兼1」に変更。 ・担当教員見直しのため、「地域サステイナビリティ学特別講義Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。 ・担当教員見直しのため、「地域サステイナビリティ学特別講義Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。 ・担当教員見直しのため、「地域サステイナビリティ学ゼミナール」の専任教員等の配置を「兼60」から「兼57」に変更。 ・担当教員見直しのため、「地域サステイナビリティ学ラボワーク」の専任教員等の配置を「兼60」から「兼57」に変更。 ・担当教員見直しのため、「多変数の微積分学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に兼任・兼担を「兼1」から「兼0」に変更。 ・担当教員見直しのため、「都市システム工学製図」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師1、助教1」に変更。 ・担当教員見直しのため、「建築学概論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2、講師1、助教1」から「教授1、准教授2、講師1、助教2」に変更。 ・担当教員見直しのため、「造形演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「助教1」に変更。 ・専任教員が担当できるようになったため、「建築設計製図Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」兼任・兼担を「兼1」から「兼0」に変更。 ・担当教員見直しのため、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授6、准教授5、講師1、助教3」から「教授8、准教授7、講師1、助教2」に変更。 ・担当教員見直しのため、「工学概論」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授5、准教授1」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
27 科目	145 科目	1 科目	173 科目	27 科目 []	146 科目 [1]	1 科目 []	174 科目 [1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{173} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	369,215㎡	㎡	㎡	369,215㎡			
	運 動 場 用 地	114,255㎡	㎡	㎡	114,255㎡			
	小 計	483,470㎡	㎡	㎡	483,470㎡			
	そ の 他	315,124㎡	㎡	㎡	315,124㎡			
	合 計	798,594㎡	㎡	㎡	798,594㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		147,665㎡ (147,665㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	147,665㎡ (147,665㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		27室	3室	130室	0室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		工学部 都市システム工学科			18 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	学部単位での特定不能な ため、大学全体の数
	工学部 都市システム工 学科	1,008,826 (282,013) (1,008,826 [282,013])	16,462 [4,704] (16,462 [4,704])	2,430 [2,429] (2,430 [2,429])	3,123 (3,123)	— ()	— ()	
	計	1,008,826 (282,013) (1,008,826 [282,013])	16,462 [4,704] (16,462 [4,704])	2,430 [2,429] (2,430 [2,429])	3,123 (3,123)	— ()	— ()	
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		11,986㎡		997	958,000			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体	
		3,160㎡		テニスコート7面		プール (25m×15m) 1基		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	茨城大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文社会科学部									
現代社会学科	4	130	—	520	学士 (現代社会学)	1.03	平成29年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
法律経済学科	4	120	—	480	学士 (社会科学)	1.03	平成29年度	同上	
人間文化学科	4	110	—	440	学士 (人文学)	1.05	平成29年度	同上	
人文学部									
人文コミュニケーション学科	4	—	—	—	学士 (人文学)	—	平成18年度	同上	平成29年度より学生募集停止
社会科学科	4	—	—	—	学士 (社会科学)	—	昭和50年度	同上	平成29年度より学生募集停止
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	240	—	960	学士 (教育学)	1.05	平成8年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
養護教諭養成課程	4	35	—	140	学士 (教育学)	1.03	昭和50年度	同上	
情報文化課程	4	—	—	—	学士 (教養)	—	平成元年度	同上	平成29年度より学生募集停止
人間環境教育課程	4	—	—	—	学士 (教養)	—	平成11年度	同上	平成29年度より学生募集停止
理学部									
理学科	4	205	4	828	学士 (理学)	1.05	平成17年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
工学部									
機械システム工学科	4	130	6	532	学士 (工学)	1.06	平成30年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	
機械システム工学科(夜)	4	40	—	160	学士 (工学)	1.02	平成30年度	同上	
電気電子システム工学科	4	125	5	510	学士 (工学)	1.01	平成30年度	同上	
物質科学工学科	4	110	3	446	学士 (工学)	1.00	平成30年度	同上	
情報工学科	4	80	4	328	学士 (工学)	1.02	平成30年度	同上	
都市システム工学科	4	60	2	244	学士 (工学)	1.03	平成30年度	同上	
機械工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成2年度	同上	平成30年度より学生募集停止
生体分子機能工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17年度	同上	平成30年度より学生募集停止
マテリアル工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17年度	同上	平成30年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成2年度	同上	平成30年度より学生募集停止
メディア通信工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成8年度	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17年度	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学科(B)	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17年度	同上	平成30年度より学生募集停止
農学部									
食生命科学科	4	80	5	330	学士 (農学)	1.04	平成29年度	茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1	

地域総合農学科	4	80	5	330	学士 (農学)	1.06	平成29年度	同上	
生物生産科学科	4	—	—	—	学士 (農学)	—	平成12年度	同上	平成29年度より学生募集停止
資源生物科学科	4	—	—	—	学士 (農学)	—	昭和62年度	同上	平成29年度より学生募集停止
地域環境科学科	4	—	—	—	学士 (農学)	—	平成12年度	同上	平成29年度より学生募集停止
人文社会科学研究科									
文化科学専攻	2	13	—	26	修士 (学術)	0.88	平成21年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
社会科学専攻	2	12	—	24	修士 (学術)	1.41	平成26年度	同上	
地域政策専攻	2	—	—	—	修士 (学術)	—	平成6年度	同上	平成26年度より学生募集停止
教育学研究科									
障害児教育専攻	2	3	—	6	修士 (教育学)	1.16	昭和63年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
教科教育専攻	2	22	—	44	修士 (教育学)	1.20	昭和63年度	同上	
養護教育専攻	2	3	—	6	修士 (教育学)	0.83	平成9年度	同上	
学校臨床心理専攻	2	9	—	18	修士 (教育学)	1.16	平成13年度	同上	
教育実践高度化専攻	2	15	—	30	教職修士 (専門職)	1.03	平成28年度	同上	
理工学研究科									
(博士前期課程)									
量子線科学専攻	2	102	—	204	修士(理学) 修士(工学)	0.91	平成28年度	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
理学専攻	2	45	—	90	修士 (理学)	1.21	平成21年度	茨城県水戸市文京2-1-1	
機械システム工学専攻	2	86	—	172	修士 (工学)	1.36	平成30年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	
電気電子システム工学専攻	2	58	—	116	修士 (工学)	1.05	平成30年度	同上	
情報工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	1.40	平成30年度	同上	
都市システム工学専攻	2	27	—	54	修士 (工学)	1.03	平成30年度	同上	
機械工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成7年度	同上	平成30年度より学生募集停止
電気電子工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成7年度	同上	平成30年度より学生募集停止
IT通信工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成12年度	同上	平成30年度より学生募集停止
知能システム工学専攻	2	—	—	—	修士 (工学)	—	平成21年度	同上	平成30年度より学生募集停止
応用粒子線科学専攻	2	—	—	—	修士(理学) 修士(工学)	—	平成16年度	同上	平成28年度より学生募集停止
(博士後期課程)									
量子線科学専攻	3	20	—	60	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.60	平成28年度	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
複雑系システム科学専攻	3	10	—	30	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.90	平成28年度	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
社会システム科学専攻	3	8	—	24	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	0.62	平成28年度	茨城県水戸市文京2-1-1 茨城県日立市中成沢町4-12-1	
物質科学専攻	3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	平成7年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
生産科学専攻	3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	平成7年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
情報・システム科学専攻	3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	平成7年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
宇宙地球システム科学専攻	3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	平成7年度	茨城県水戸市文京2-1-1	平成28年度より学生募集停止

環境機能科学専攻	3	—	—	—	博士（理学） 博士（工学） 博士（学術）	—	平成8年度	茨城県水戸市文京2-1-1	平成28年度より学生募集停止
応用粒子線科学専攻	3	—	—	—	博士（理学） 博士（工学） 博士（学術）	—	平成16年度	茨城県日立市中成沢町4-12-1	平成28年度より学生募集停止
農学研究科									
農学専攻	2	48	—	96	修士 （農学）	0.77	平成29年度	茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1	
生物生産科学専攻	2	—	—	—	修士 （農学）	—	平成16年度	同上	平成29年度より学生募集停止
資源生物科学専攻	2	—	—	—	修士 （農学）	—	平成3年度	同上	平成29年度より学生募集停止
地域環境科学専攻	2	—	—	—	修士 （農学）	—	平成16年度	同上	平成29年度より学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については，必ず記入するとともに，下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
6	5	1	3	15	8	7	1	2	18	6	6	2	2	16
(8)	(7)	(1)	(2)	(18)						[0]	[1]	[1]	[Δ1]	[1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{15} = \boxed{106.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 **該当なし**

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
			必修	選択			自由	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	教授		必修										
			選択										
			自由										
2	准教授		必修										
			選択										
			自由										
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
			必修	選択			自由	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	教授		必修										
			選択										
			自由										
2	准教授		必修										
			選択										
			自由										
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)						後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
			必修	選択							
1	教授		必修								
			選択								
			必修								
2	准教授		自由								
			必修								
			必修								
合計			後任補充状況の集計								
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 **該当なし**

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等 該当なし

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・大学設置基準に抵触 するため、改めるこ と。(△△学部△△学 科)	留意事項	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・〇〇学部〇〇学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(◆◆学 科、●●学科)の～す ること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)	・〇〇学部〇〇学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(◆◆学 科、●●学科)の～す ること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・××学部××学科に おいて、定年規定に定 める～検討すること。	改善意見	未履行
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・同一設置者が設置す る既設学部等(□□学 科、■●学科)の～す ること。	改善意見	履行済

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<工学部 都市システム工学科>

(1) 設置計画変更事項等 該当なし

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 A. 教育改善委員会 B. ②産学協同カリキュラム改良委員会 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) A. 学期始めを中心に、年6回程度開催 B. 年1回～2回程度開催 c 委員会の審議事項等 A. -1 授業アンケート及び学科教育点検に関すること -2 FD及び推奨授業に関すること -3 JABEEに関すること B. カリキュラム及び授業に関すること ② 実施状況 a 実施内容 A. 第1回(H29.4.27 出席者9名) 授業アンケートについて、推奨授業について 他 第2回(H29.5.22 出席者11名) 授業アンケートについて、学科教育点検について、JABEEについて 他 第3回(H29.9.13 出席者10名) 推奨授業について、学科教育点検について、JABEEについて 他 第4回(H29.10.17 出席者11名) 推奨授業について、学科教育点検について、FD研修会について 他 第5回(H29.11.17 出席者9名) 授業アンケートについて、推奨授業について、JABEEについて 他 第6回(H29.12.22 出席者9名) 授業アンケートについて、学科教育点検について、FD研修会について 他 第7回(H30.2.14 出席者10名) FD研修会について、H30活動計画について 他 ・FD研修会の実施(H29.12.13 出席者119名) B. 第1回(H30.3.22 出席者23名) 学部及び大学院の授業について b 実施方法 上記のとおり c 開催状況(教員の参加状況含む) 上記のとおり d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 上記A及びBの審議を踏まえ、学科長から所属各教員に改善内容を周知し、それぞれが改善に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各学期の講義最終回にアンケートを実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

結果を担当教員に周知するほか、学科内で共有を図っている。

学生に対して公表はしていない。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

計画どおり実施している。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って計画どおり教育研究活動を実施する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成30年7月30日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定(平成30年7月末を予定)

③ 認証評価を受ける計画

・平成34年度に評価機関(大学改革支援・学位授与機構)の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表(予定)の有無 (有) ・ 無)

b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (平成30年 9月 1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。